

# 宮城学院 目で見る120年

宮城学院 目で見る120年



1886 ~ 2006

学校法人  
宮城学院



学校法人 宮城学院



# 宮城学院 目で見る120年

真理と愛をうたい継ぎ 光にはばたく



学校法人 宮城学院



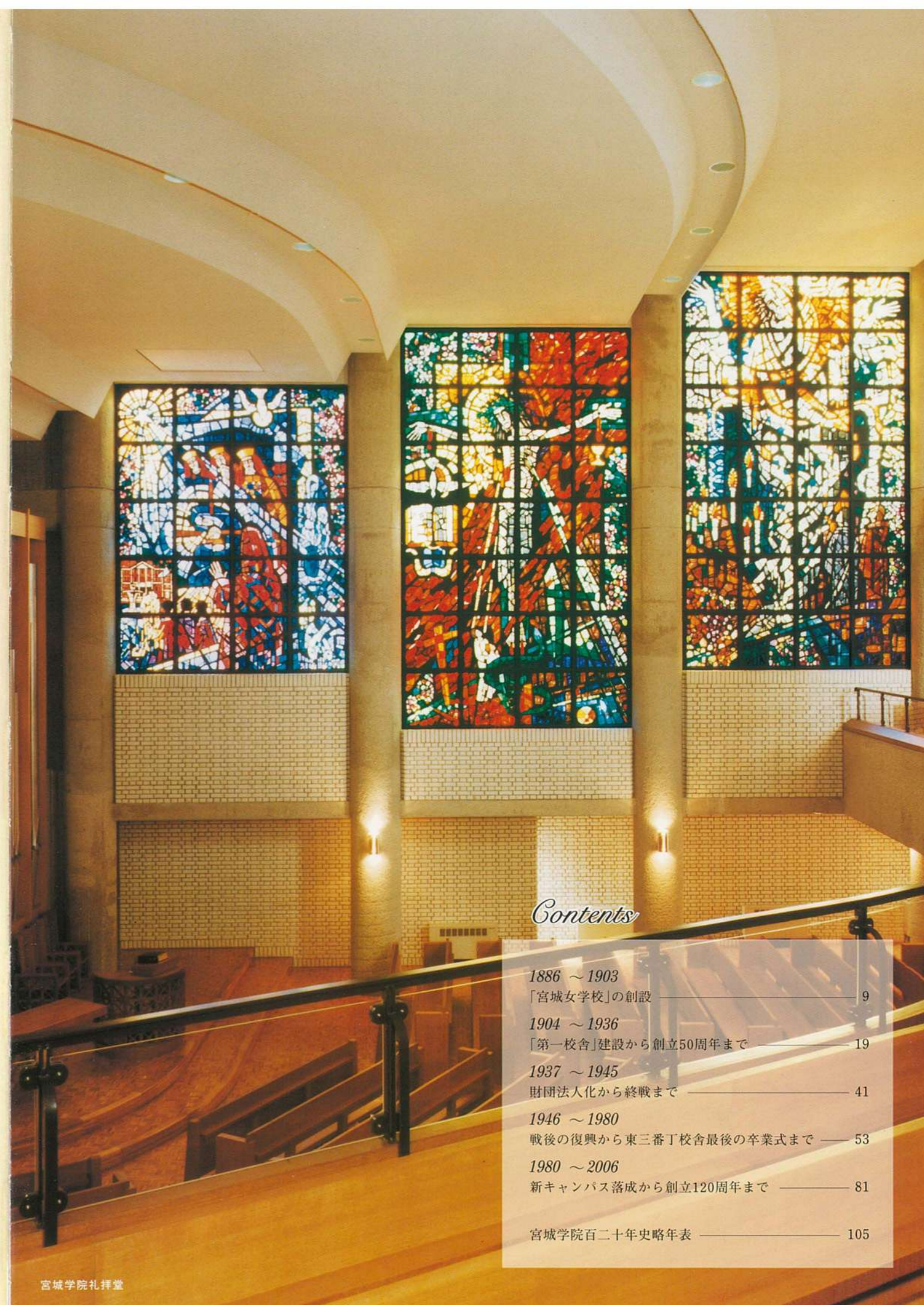
宮城学院は、1886年(明治19年)に「宮城女学校」として設立されて以来、ここに120年の歴史を刻みました。その間多くの荒波に襲われましたが、福音主義キリスト教に基づく教育という創立者たちに始まる本学院の建学の精神は揺るぎなく、文化の進展に応じて社会の期待にこたえるべく教育の充実発展を図って、今日を迎えることができました。

この歴史に深い感謝を覚えつつ、創立120周年を記念して、本書を編纂発行します。

ここに編まれた写真等の記録は、言葉で綴る歴史書とはまた違った味わいをもって、みなさまに多くのことを語りかけるでありましょう。そしてそこから、みなさまは、本学院の120周年記念テーマ《真理と愛をうたい継ぎ 光にはばたく》が、宮城学院のこれまでの歩みを集約し、将来への展望を告げるものであることをくみ取ってくださるものと思います。

本書の語りかけに対するみなさまの応答が、21世紀の宮城学院の発展を生み出し、あるいは支援するものとなることを期待しています。

学院長  
深谷 松男



### Contents

1886 ~ 1903 「宮城女学校」の創設	9
1904 ~ 1936 「第一校舎」建設から創立50周年まで	19
1937 ~ 1945 財団法人化から終戦まで	41
1946 ~ 1980 戦後の復興から東三番丁校舎最後の卒業式まで	53
1980 ~ 2006 新キャンパス落成から創立120周年まで	81
宮城学院百二十年史略年表	105



宮城学院校歌

作詞 土井純  
作曲 ケート・アレン

一 天にみかん地に平和

人にみかんみ明り暮れに

祈る尊とみおしれに

光と仰ぐあねいもと

二 あ、曙よ光明よ

春よ望と愛と信

嵐り雨しもうぐしむ

我には示す明日の晴

三 わが名にしおふ宮城野の

錦の郷に日々織る

あやと心によそひつ

聖なる業にそしむ身

四 鳩のやさしみ清浄の

操みどりのかんづんか

色はとこしへ人の世に

神のほまれとありほさむ



宗教改革記念碑(ジュネーヴ)

宗教改革  
●ジュネーヴ改革教会  
(ジャン・カルヴァン)

1859年  
日本伝道開始

1872年  
日本基督公会  
(横浜バンド)  
押川方義 受洗

押川と吉田亀太郎の協力により  
仙台伝道開始



校主 押川 方義



校長 プールボー

1877年  
日本基督一致教会

1879年  
日本伝道開始

押川とホーイの協力  
宮城女学校

米国改革派教会  
(ダッチリフォームド)

米国長老派教会

合衆国改革派教会  
(ジャーマンリフォームド)

1890年  
日本基督教会



グリング

1941年  
日本基督教団



モール



ホーイ

宮城学院  
(教団関係学校)

「すべての人に福音を宣べ伝えよ」



REFORMED MISSION SCHOOL, SENDAI, JAPAN.



*Founded in September, 1886, by Miss Lizzie R. Poorbaugh and Miss Mary B. Hull, Missionaries of the Reformed Church in the United States. Miss Hull is on the left side of the picture among the smaller girls. Miss Poorbaugh is seated near the center, with her niece, Betty, on her lap. Betty is known by her white apron.*

初期の宮城女学校をアメリカの教会に紹介した写真



1886 ~ 1903

「宮城女学校」の創設



GIRLS SCHOOL BUILDING IN THE CITY OF SENDAI, MIYAGI KEN, JAPAN.  
*The property of the Board of Commissioners for Foreign Missions of the Reformed Church in the United States.*  
Dedicated July 5, 1889.

- 1886 : M19 9月18日 押川方義牧師ら日本人キリスト者とウイリアム・E・ホーイら  
合衆国改革派教会宣教師により「宮城女学校」創立  
校主 押川方義  
初代校長 エリザベス・R・プーラー  
9月24日 授業開始(生徒10名)
- 1889 : M21 7月 5日 校舎献堂式
- 1893 : M26 6月29日 第一回卒業式(卒業生4名)  
同窓会発足
- 1899 : M32 8月 3日 私立学校令公布。外国人校主制に移行
- 1900 : M33 聖書専攻科(1年制)設置
- 1901 : M34 3月30日 第9回卒業式(3月に行われた最初の卒業式)
- 1902 : M35 3月 8日 校舎全焼

宮城女学校創立まで



宮城女学校初代校主(設置者) 押川方義  
1886-1889

横浜バンドの一人、J・H・バラより受洗  
1880 (M13) 吉田亀太郎と仙台を拠点に東北伝道を開始  
1886 (M19) 合衆国改革派教会宣教師W・E・ホーイと協力し、  
宮城女学校(現・宮城学院)を創設

仙台教会(現・日本基督教団仙台東一番丁教会)  
1881 (M14) 押川方義と吉田亀太郎により創立  
写真は1901 (M34) 献堂の教会堂



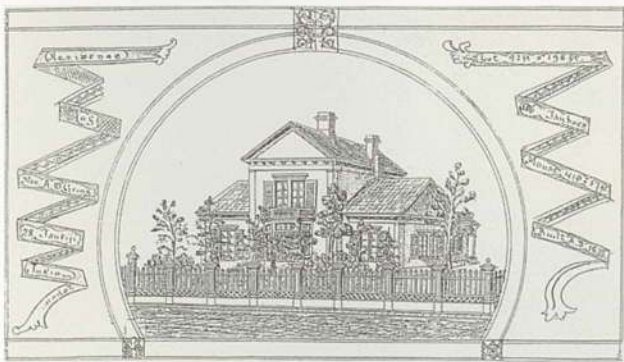
日本基督一致教会 第一回宮城中会  
1886 (M19)  
前列左から W・E・ホーイ、  
G・W・ノックス、押川  
後列左から1人おいて  
吉田、J・M・マコーレー、J・H・バラ



W・E・ホーイ  
William E. Hoy  
合衆国改革派教会の日本派遣宣教師  
押川と協力するため1886 (M19) 1月13日に仙台着任



ジャパン・ミッション  
在仙の宣教師たち  
前列左 シュネーダー夫人、前右 モール夫人とキティー  
後列左 エマ・プールボー、プールボー校長、  
シュネーダー、モール、ホーイ、ホーイ夫人オールド  
1889 (M22)



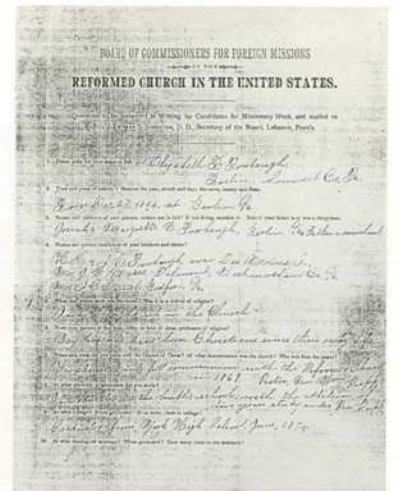
最初の宣教師A・D・グリングの住居(東京築地居留地28番)  
合衆国改革派教会(ジャーマンリフォームド)派遣宣教師(グリング、モール、ホーイの3氏)が、1885 (M18) 12月、グリング宅で合衆国改革派教会在日宣教師社団(所謂「ジャパン・ミッション」)最初の会議を開催し、ホーイの仙台赴任を決定

仙台神学校(現・東北学院)  
1886 (M19) 5月15日  
押川方義とW・E・ホーイの協力により創立  
初代校長 押川方義  
副校長 W・E・ホーイ  
写真は1891 (M24) に献堂の校舎

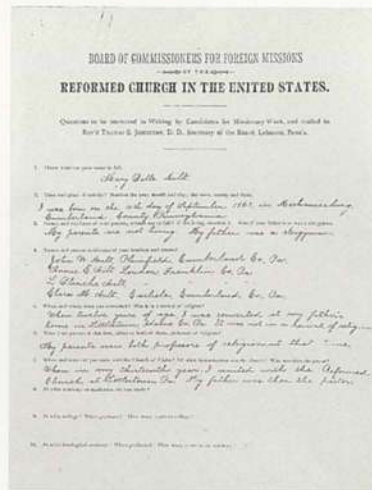


# 宮城女学校の誕生

宮城女学校初代校長  
E・R・プールポー  
Elizabeth R. Poorbaugh  
1886-1893



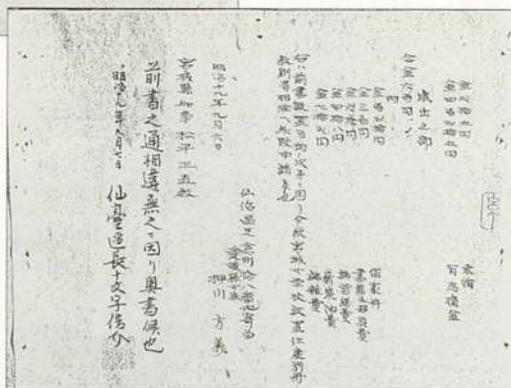
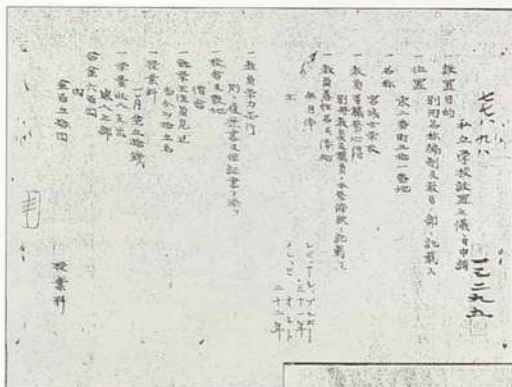
プールポーの宣教師志願書



オールの宣教師志願書

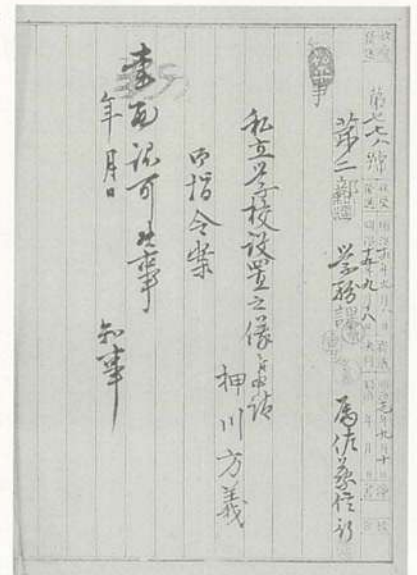


M・B・オールト  
Mary B. Ault  
1886-1888

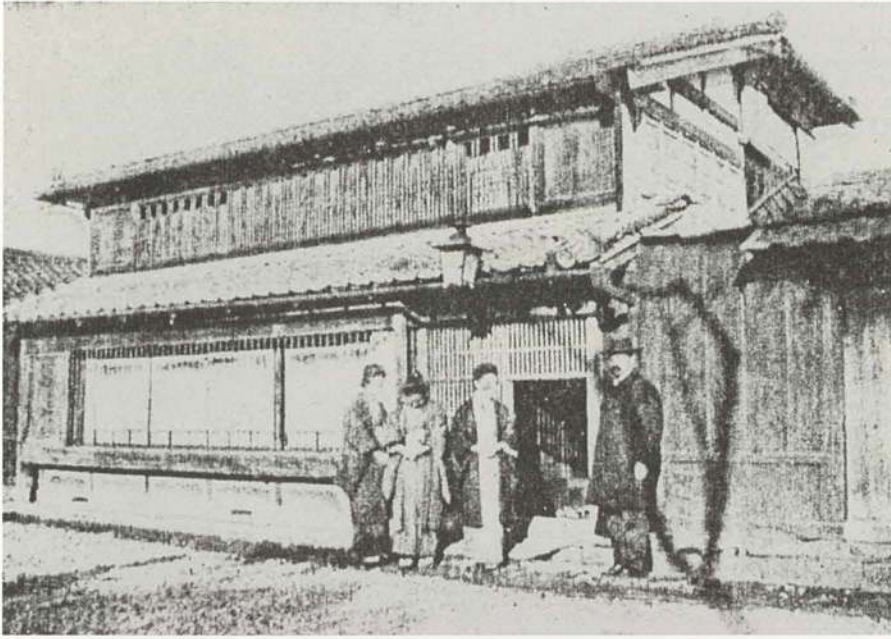


「私立学校設置之儀ニ付申請」

認可書



1886 (M19) 9月6日に「私立学校設置之儀ニ付申請」を行い、同年9月18日に「宮城女学校」の設置認可を受けた以後、9月18日を創立記念日としている



最初に校舎としていた田辺氏別邸  
1886 (M19) 9月24日にこの校舎において最初の授業が行われた



最初の校舎完成  
最初の授業が行われてから3年後の1889 (M22)、木造2階建ての「宮城女学校校舎」が完成したため、田辺氏別邸より移転し、  
1889 (M22) 4月15日に新校舎での授業が開始された



宮城女学校よりブルボーに贈られた謝状

謝状

我校敬愛のブルボー先生ハ其ノ其國ノ人ノ權由リ  
萬里ノ波濤ヲ破リ遠ク我邦ニ航シ我邦女子ヲ教  
育セシメ本校ヲ仙臺ニ創立セシメリ其主義基督  
教ヲ擴充スニ在リ爾來七年ノ星霜ト無數ノ困  
難ト經テ遂ニ今日ノ如ク校舎理嚴規律森嚴目下  
我邦非宗教論ノ盛ルモ聞ラヌ就學者日ニ益々ク  
卒業生モ亦新ニ出ルニ至ル是實ニブルボー先生熱心  
ノ致ス所非ズシテ何ノ令ヤ任滿チテ將ニ故途ニ就  
カレニ大誠ニ愛惜ニ堪ヘズ然レモ先生ノ薰陶既著ク  
我校基礎モ亦既ニ定リ其主義其教育依然茲ニ  
存スバ則チ先生去リト雖モ猶在リタカク先生ノ功績  
氏ノ功績ヲ述ベ謹テ感謝ノ意ヲ表ス

明治二十六年六月二十六日 宮城女學校

リゼ・ブルボー 殿



ブルボー先生の送別会 1893 (M26) 6月26日  
4人の第一回卒業生を囲んで、ブルボー校長とエマ・ブルボー先生の送別会



第一回卒業生 1893 (M26) 6月

第2代校長  
J・P・モール  
Jairus P. Moore  
1893-1894



第2代校主  
首藤陸三  
1889-1893

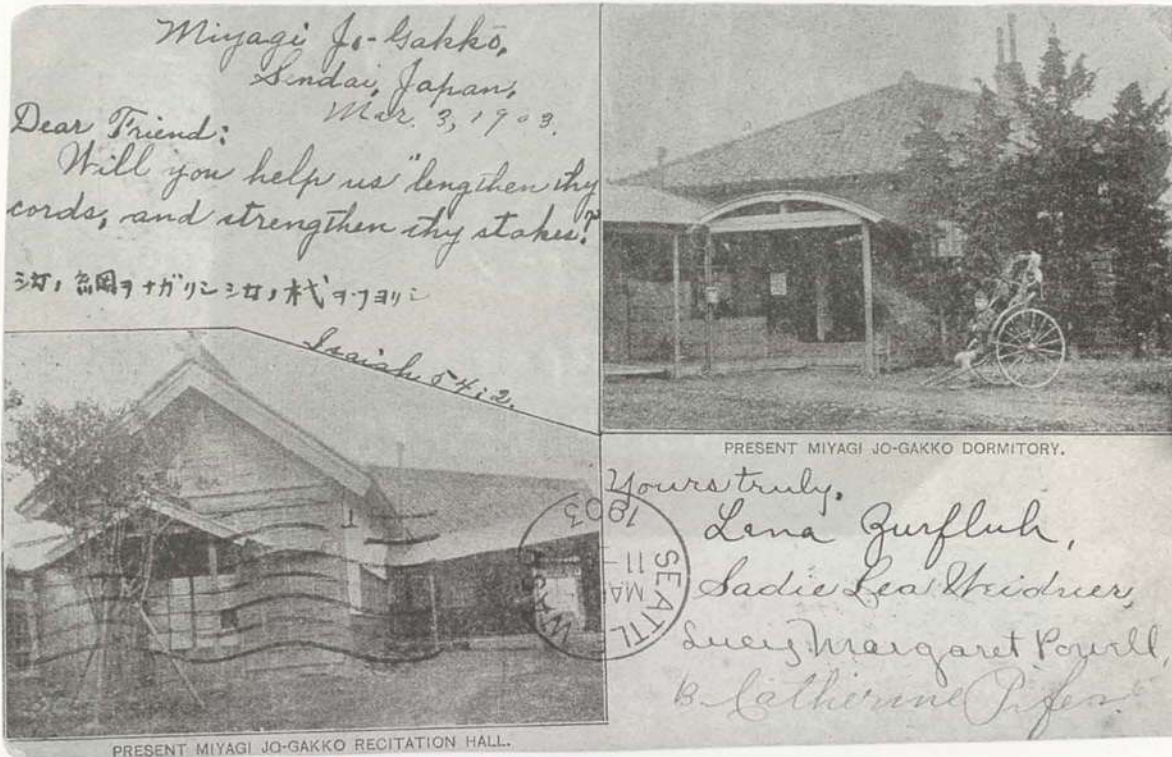


第3代校主  
橋本經光  
1893-1899



## 片平丁仮校舎時代

1902 (M35) 3月8日、寄宿舎の浴場から出火、校舎が全焼した。そのため、片平丁にあった旧県知事官舎を借り受けて仮校舎とし、翌1903 (M36) に寄宿舎が新築され移転するまで、ここで授業が続けられた



仮校舎の絵はがき 1903 (M36) 3月  
アメリカの教会の支援者に援助を求めたもの

仮校舎の廊下に並ぶ全校生 1903 (M36) 3月  
第11回卒業式は、この廊下を式場に行われた



## 寄宿舍完成 新たな始まりへ

東三番丁の校地西隣接地の土地を購入し、新しく総煉瓦造りの講堂・教室及び木造の寄宿舍の建築を計画した



竣工した寄宿舍の2階を寄宿舍に、1階を仮教室として、授業が開始された 1903(M36)9月



寄宿舍での生活の様子



食堂における食前の祈り



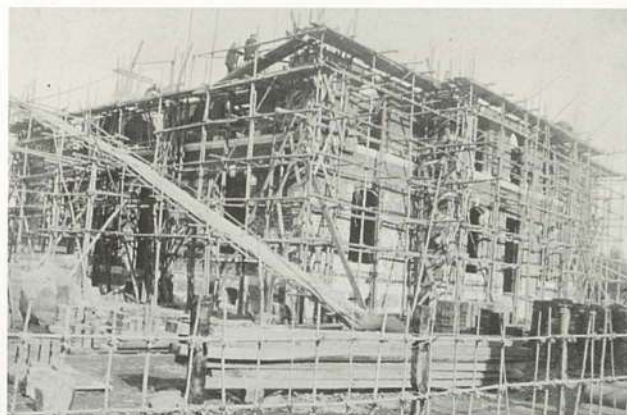
1904 ~ 1936

「第一校舎」建設から創立50周年まで



- 1904:M37 6月 2日 第一校舎献堂式  
1908:M41 4月 7日 H・K・ミラー、第4代校長に就任  
1909:M42 9月13日 S・L・ワイドナー、第5代校長に就任  
1910:M43 4月 2日 校旗制定し、教職員・生徒より寄贈  
1911:M44 10月25日 創立25周年記念祝賀式  
1912:M45 4月 家政専攻科設置  
1913:T2 4月 英文専攻科設置  
7月16日 A・K・ファウスト、第6代校長に就任  
1914:T3 6月 2日 寄附行為制定  
10月20日 理事会組織発足  
1916:T5 4月 音楽専攻科並びに聖書専攻科(2年制)設置  
1918:T7 5月28日 第二校舎献堂式  
1930:S5 5月30日 C・D・クリーチ、第7代校長に就任  
1936:S11 11月 2日 創立50周年記念式典

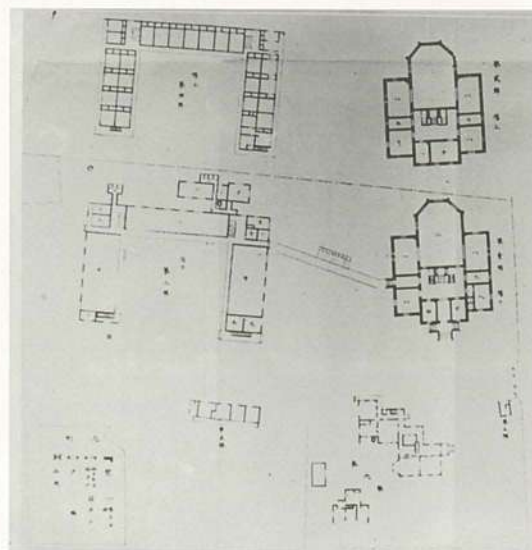
# 第一校舎の建設



左端、W・E・ランベ宣教師 第一校舎の建築総監督



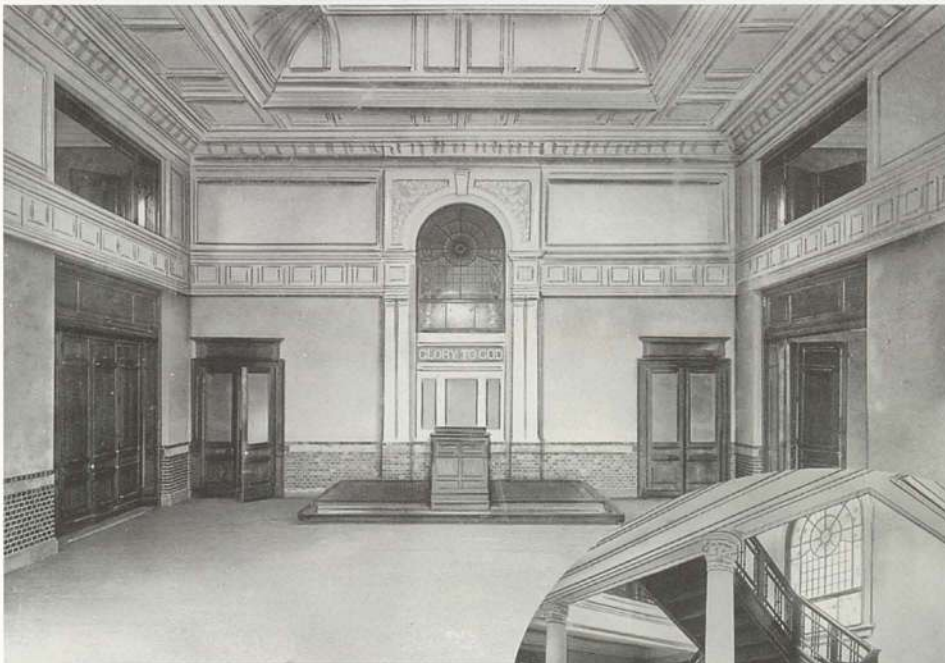
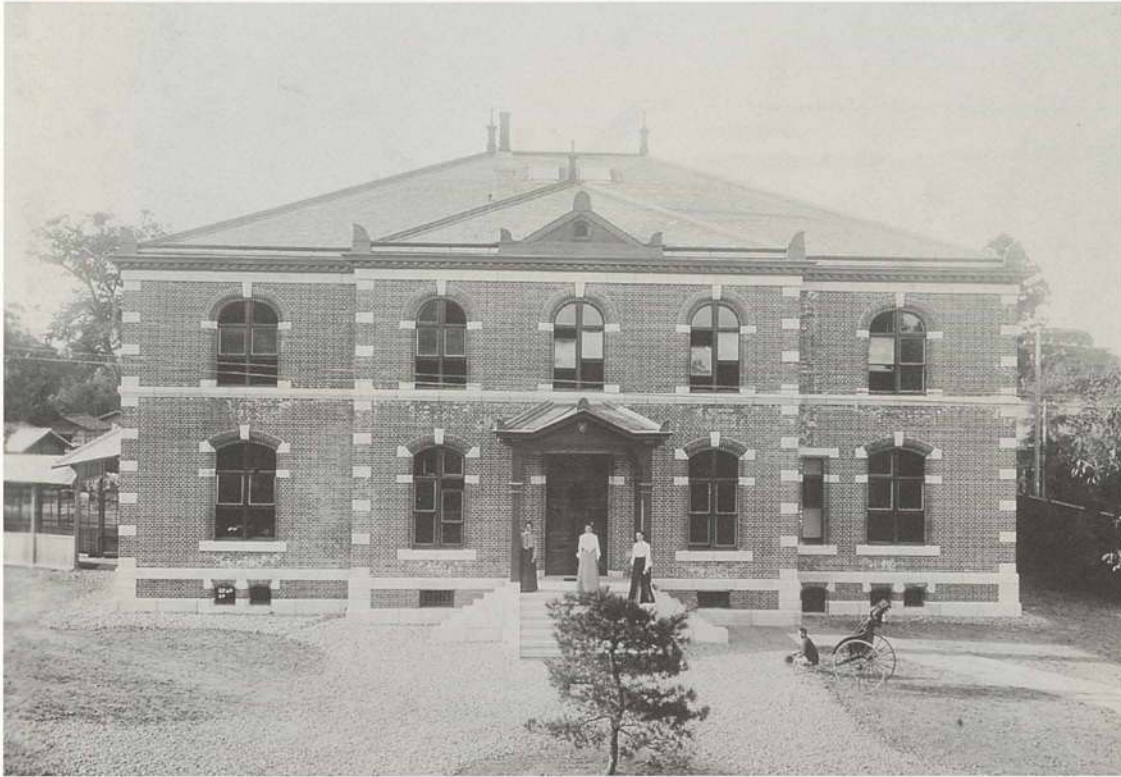
第一校舎定礎石



私立宮城女学校校地校舎寄宿舍其他平面图

第一校舎献堂

第一校舎(全景) 1904(M37)



第一校舎講堂内部



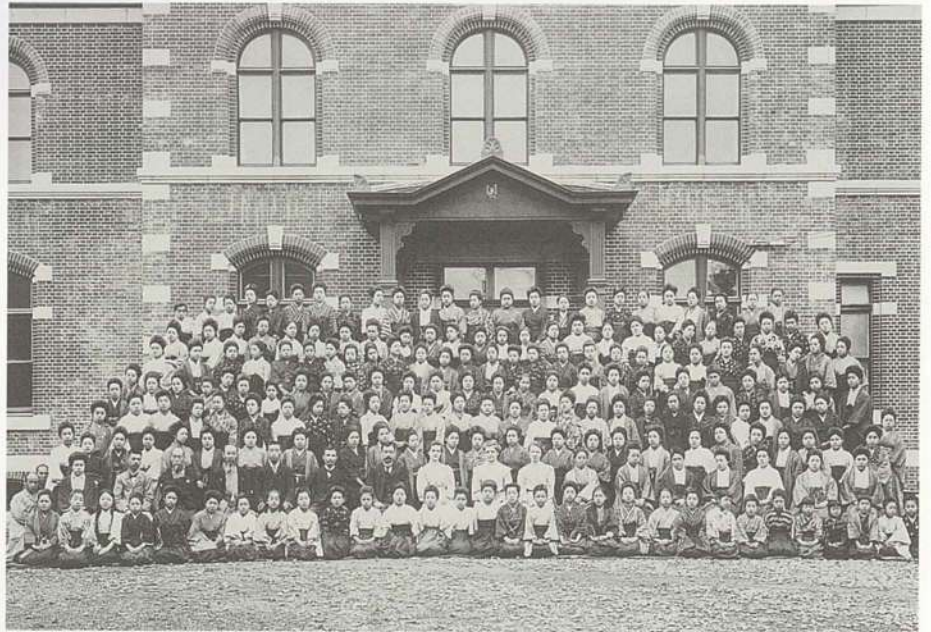
第一校舎内部

ミラー校長と当時の学校



第4代校長  
H・K・ミラー  
Henry K. Miller  
1908-1909

落成した校舎と  
全校生徒と教員  
1905 (M38)



女生徒募集広告を出した校門 1908 (M41)



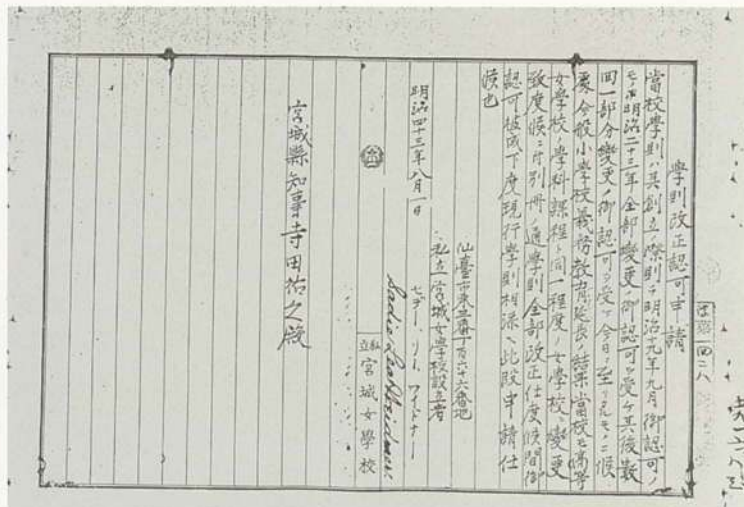
同窓会東京支部発会式 1911 (M44)

ワイドナー校長時代

第5代校長  
S・L・ワイドナー  
Sadie L. Weidner  
1909-1913



宮城女学校校旗制定 1910 (M43) 4月2日  
ワイドナー校長と早坂哲郎幹事が中心になって作成  
4月2日卒業式の日には教職員・在校生一同より校旗寄贈  
聖書と鳩は黄色、萩は黒色、地はエンジ



学則改正認可申請 1910 (M43)  
1899年の文部省訓令12号のため  
高等女学校の学科課程が  
認められていなかったが、  
これの認可により高等女学校の学科課程と  
同等以上の学力を持つものと認定された



創立25周年記念祝賀式 1911 (M44) 10月25日



創立25周年記念写真 1911 (M44)

ファウスト校長と理事会の発足



第6代校長  
A・K・ファウスト  
Allen K. Faust  
1913-1930

初めて寄附行為 (CONSTITUTION) が制定され (1914 (T3) 6月2日)、理事会が構成された (同年10月20日)  
(左端は ファウスト校長、右より リンゼイ、一人おいてハンセン、原田ことち)



最初の理事会議事録

1914 (T3) 制定の寄附行為

CONSTITUTION

Article I. — Name

The name of this Educational Institution established at Sendai, Miyagi Ken, Japan, shall be Miyagi Girls' School.

Article II. — Object

The following shall be the aim of Miyagi Girls' School :

1. To furnish a thorough general education in harmony with the principles of Christianity ;
2. To train girls and young women in body, mind, and spirit so as to fit them to serve God and their fellowmen efficiently.

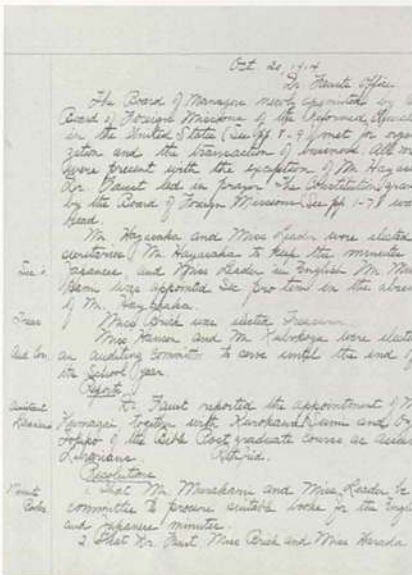
Article III. — Departments

The Institution shall be divided into Departments as follows :

1. An Academical Department having a curriculum extending

Addenda.

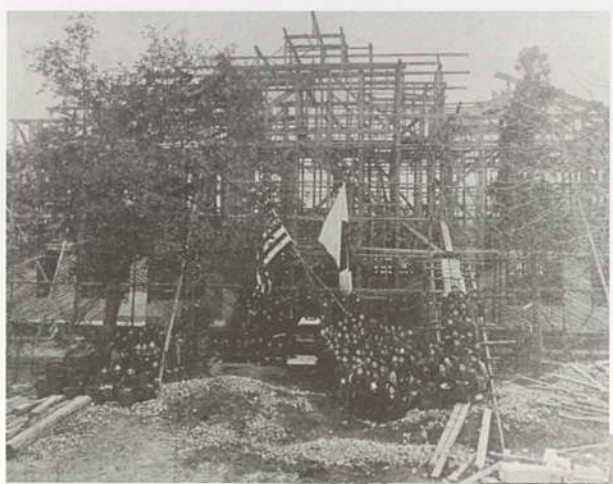
1. All plans of government, actions, rules, regulations and customs now in vogue in Miyagi Girls' School that are in disagreement with the above Constitution are hereby declared null and void.
2. The English version of the Constitution shall be the standard.
3. The Board of Managers shall recognize the custom of the Board of Foreign Missions in granting its missionaries furloughs about seven days for single ladies and about forty seven days for married persons.



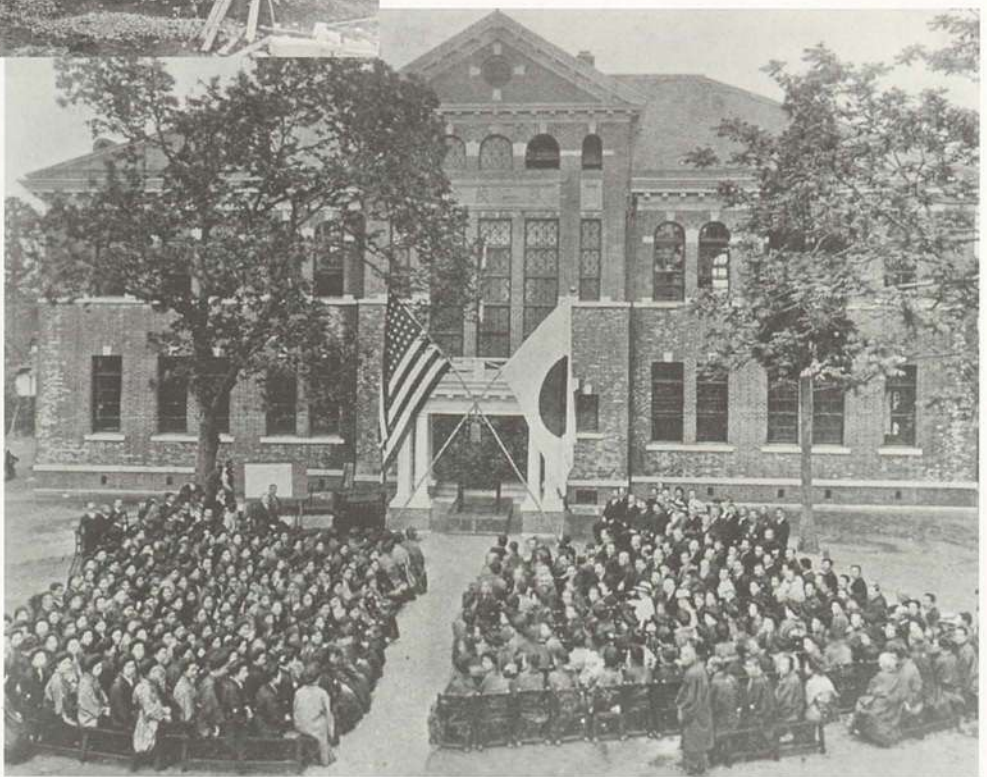
# 第二校舎の建設

聖書専攻科増設及学則認可申請書  
 1918 (T7) 1月26日この申請が認可され、  
 聖書専攻科(2年制)が増設された  
 これに伴い第二校舎を建設

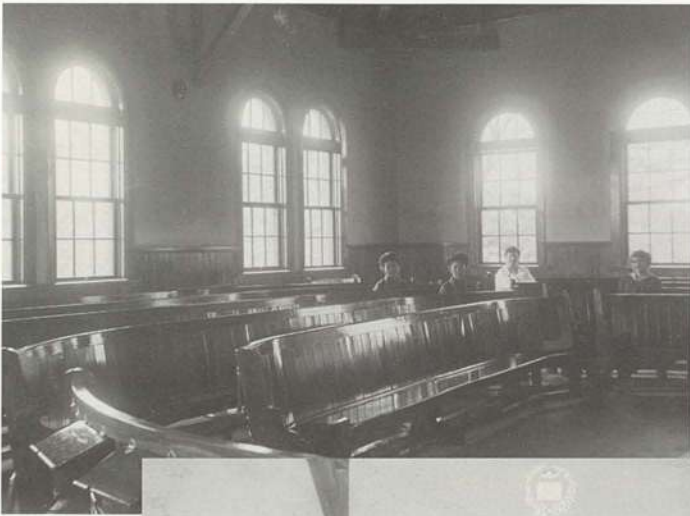
聖書専攻科増設及学則變更認可申請書  
 今般當校ニ於テ高等女學校卒業以上ノ女子聖書科ニ關シ  
 高等ノ教育ヲ授ク目的ヲ以テ聖書専攻科ヲ増設シ定  
 員ヲ一學年二學年各十五名トシ未ル四月一日ヨリ該生  
 徒ヲ募集致度又本校卒業者ニモ專攻科ニ入學ス  
 ルモ、便宜ヲ計ル為メ其入學試験手續教科及入學  
 料ヲ免除致度其等ノ結果現行學則中變更シ  
 要スルモノ相生シ候ニ付、別紙摘要書、通り變更  
 致度候間御認可被成下度現行學則相添  
 此段申請仕候也  
 大正七年一月十八日  
 仙臺市米三番丁百廿六番地  
 私立聖城女學校校長者



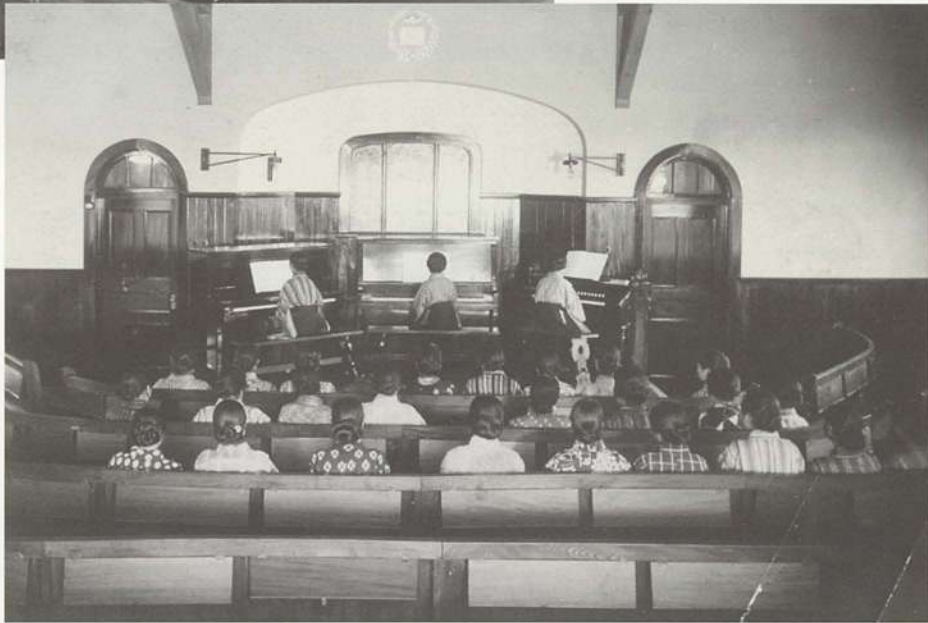
定礎式 1917 (T6)



第二校舎献堂式  
 1918 (T7) 5月28日



第二校舎音楽講堂  
1918(T7)



専攻科卒業生 1919(T8)

専攻科の充実



サンデースクール・花の日礼拝 1925 (T14)



英文専攻科に英語会設立 1920 (T9)



作法教室  
1921 (T10)

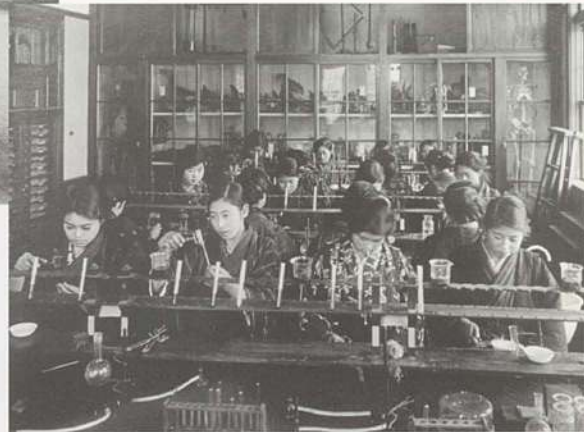


音楽専攻科 音楽講堂にて  
1920 (T9)

九年



体操の授業  
1921(T10)



家政専攻科理科の授業  
1921(T10)

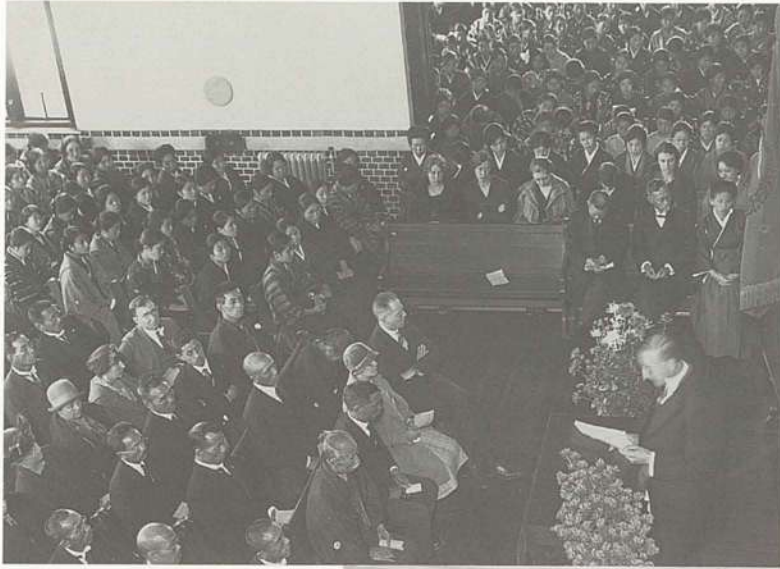


庭球の選手たち  
1924(T13)



文芸会英語劇 1922(T11)

創立40周年



創立40周年記念式  
1926 (T15) 10月20日  
ファウスト校長式辞



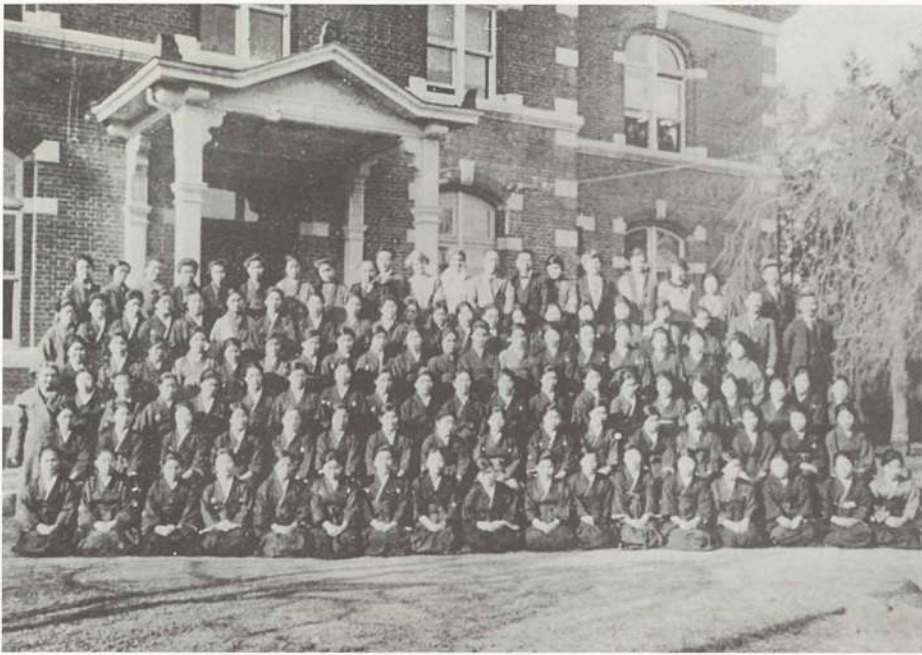
祝賀会中の一場面(第二校舎拡張資金贈呈)



創立40周年を記念して発行された「榎欖」6号 1926 (T15)



創立40周年記念絵はがき



卒業生 1926(T15)3月

創立40周年記念ホッケー大会  
1926(T15)10月



ヴォーンホルト墓前にて(北山キリスト教墓地) 1921(T10)  
第二校舎増築部はヴォーンホルト記念校舎と名付けられた

## ファウスト校長の離任



ファウスト校長とファウスト夫人

1930 (S5) 5月30日、  
ファウスト夫妻送別会が開催された  
同年11月には  
ファウスト校長在任17年間の  
功績・徳望を記念して  
ファウスト記念館が  
建設されることとなった



ファウスト記念館1931 (S6) 12月26日献堂



1923 (T12) の教職員  
右端:ファウスト校長  
後列左端:土井晩翠



離任の祈禱をするファウスト校長



ファウスト校長送別会 1930(S5)5月30日

# 早坂哲郎幹事のこと



早坂哲郎(幹事)  
1888-1920  
1899(M32)より幹事(教頭)となり、  
宣教師の校長を助けて  
本校の充実発展に尽くした



早坂幹事任職25年記念祝賀会 1913(T12)10月10日



冬の装束をしている 左 K・I・ハンセン(音楽)と、  
右 L・A・リンゼイ(英語)、後に立つのは生徒達  
1908(M41)

信 頼 289

The time, wild fowl in lofty flight  
H. K. Mosdefven, 1925 LOGAN  
Egna I. Hansen, 1926

みこころならざばこ  
とりもかつまじアゑ

1. みこころならざば、ことりも落つまじ。  
2. この世のはてをも、主はみそなわせり。  
3. 人なき鳥すら、御目よりのがれじ。  
4. わが身も主のもの、主のうちにいこわん。

ハンセン作曲讃美歌289番

クリーテ校長時代



第7代校長  
C・D・クリーテ  
Carl D. Kriete  
1930-1940



クリーテ校長が出した年賀状



ユネスコ平和の友 1934 (S9)  
クリーテ校長夫妻・土井晚翠・英文専攻科生

## 噴水の建造と校服の制定



昭和4年度高等女学科卒業生  
1930 (S5)



1931 (S6)に制定された  
校服用用の卒業生

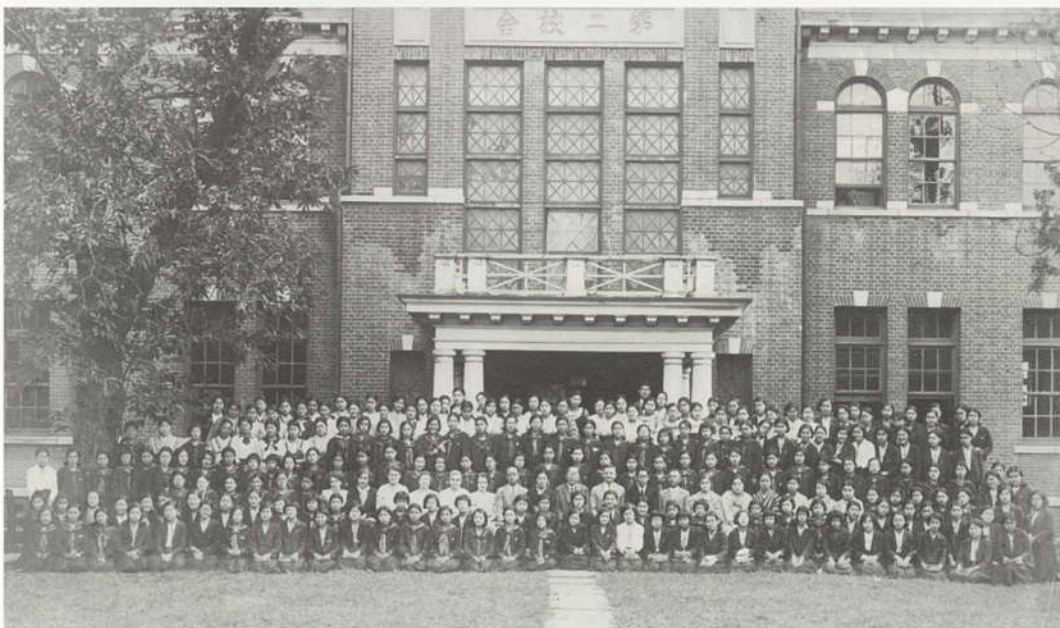


昭和天皇御大典記念として  
噴水池 (「六角池」) が建設された  
1928 (S3) 11月

昭和初期の宮城女学校



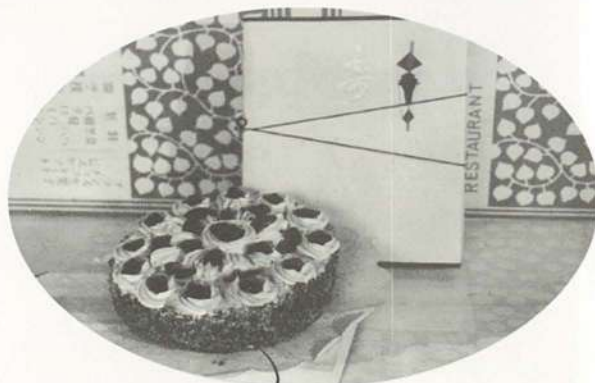
基督教女子青年会 (YWCA) 修養会 1931 (S6) 10月



第1回宮城・尚綱YWCA連合修養会 1937 (S12)



創立50周年記念の同窓会総会 1936(S11)



創立50周年記念引き出物のケーキ



創立50周年記念式典 第3回卒業生岸波せきの祝詞 1936 (S11) 11月2日

One young woman, left a widow with a family, returned to her home city and opened a music store. She uses her influence to bring skillful musicians to her town whenever possible, even at the risk of her own financial loss. "Our people must have good music" is her idea. Another graduate, the wife of a busy physician, helps her husband with the daily office work in addition to looking after the needs of her family of four splendid children. She was graduated in music, in the days when Miyagi's "grand piano" was only a dream, and has kept up her skill as a musician, giving lessons every day. Recently, her class of fifty piano pupils gave a recital in one of Tokyo's assembly halls.

The Senior Alumnae are now planning a rally to be held on September 18, Founders' Day, when the cornerstone of the new Chapel-Auditorium will be laid.

Occupations of Graduates

	Bible	English	Home	Music	High School	Total
Teachers	45	6	67	185	303	
Missionaries' Helpers	13	—	—	36	49	
Women Evangelists	96	1	—	57	154	
Doctors	—	—	—	2	2	
Newspaper Women	—	—	—	4	4	
Secretaries	—	—	—	18	37	
School Principal	—	—	—	—	1	
Social Worker	—	—	—	—	—	
Business Women	—	—	—	—	—	
Nurses	—	—	—	—	—	
Dentist	—	—	—	—	—	
Librarians	—	—	—	—	—	
International Telephone Operators	—	—	—	—	—	
Office Workers	—	—	—	—	—	
Students in Higher Courses	—	—	—	—	—	
Graduates of Higher Courses	62	90	151	42	545	
Married	—	—	—	—	—	

『宮城女学校五十周年史』より  
卒業生の職業

Occupations of Husbands of Graduates

Pastors	55
Evangelists	3
Teachers	117
Government Officials	34
Business	165
Doctors	7
Graduate Students	79
Retired	7
Army and Navy Officers	2
Lawyers	48
Newspaper Men	7
Editors	9
Merchants	1
Writers	39
Artists	6
Bible Translators	3
Farmers	2
Dentists	10
Social Workers	2
Miscellaneous	4
Occupations Unknown	6
Total number married	351
Total number graduated	890
	1682

Graduates

High School	Number	Christians
Bible	1002	775
Home Economics	99	99
English	234	75
Music	172	131
	87	86

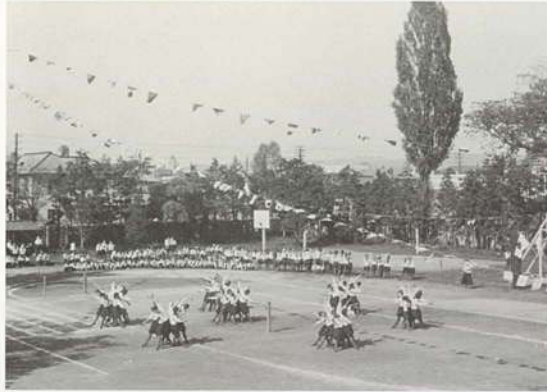
Financing Miyagi College

Miyagi college was established and maintained through fifty years by means of the generous support of the Reformed Church in the United States, the Woman's Missionary Soc-

—(29)—

『宮城女学校五十周年史』より  
卒業生の夫の職業

創立50周年記念行事



創立50周年記念運動会 1936(S11)



創立50周年記念運動会 表彰式 1936(S11)



創立50周年記念  
音楽・英文科生による「真夏の夜の夢」 1936(S11)



創立50周年記念 家政科生による日本時代劇 1936(S11)



創立50周年記念 ページェント「宮城女学校の歴史」  
ハンセン先生の1906年製のドレスにて出演 1936(S11)



1937 ~ 1945

財団法人化から終戦まで



- 1937:S12 12月30日 大講堂新築落成
- 1938:S13 4月 1日 国家総動員法公布  
5月 5日 勤労奉仕開始
- 1939:S14 4月 8日 宗教団体法公布
- 1940:S15 9月12日 C・D・クリーテ校長辞職  
11月10日 紀元2600年記念式
- 1941:S16 2月14日 「財団法人宮城女学校」設立許可  
3月 専攻部聖書科廃止  
6月 3日 宮城女学校校友会を解散し、宮城女学校報国団を結成  
7月11日 西山貞、第8代校長に就任  
12月 8日 日本、米英両国に宣戦布告、アジア・太平洋戦争に突入  
12月 9日 アメリカ人教員全員辞任
- 1942:S17 2月16日 御真影奉安殿建設  
11月16日 教職員、生徒に対して軍事教練開始
- 1943:S18 4月 1日 宮城女学校を廃止し、宮城高等女学校設置
- 1944:S19 8月 第2校舎の教室を学校工場に転用し作業開始  
11月 3日 高等女学科4・5年生、横須賀海軍航空技術廠に勤労働員
- 1945:S20 4月23日 高等女学科4年生、多賀城海軍工廠に勤労働員  
7月10日 仙台空襲により大講堂と第二校舎を残し、校舎7棟を焼失  
8月15日 「終戦の詔勅」放送

# 大講堂の建設



長く念願していた  
新しい礼拝堂・講堂(「大講堂」)を  
同窓会も協力して建設・献堂  
1938 (S13) 1月30日



大講堂で初のクリスマス祭  
専攻科生



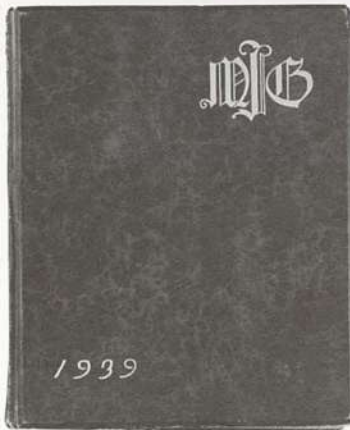
大講堂で初のクリスマス祭  
女学科生

# クリーテ校長の辞任と財団法人化

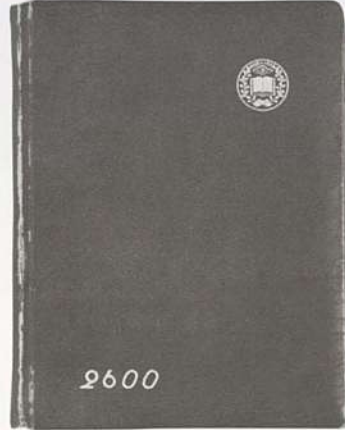


皇紀2600年記念 1940 (S15) 11月

1939 (S14) 卒業記念アルバム



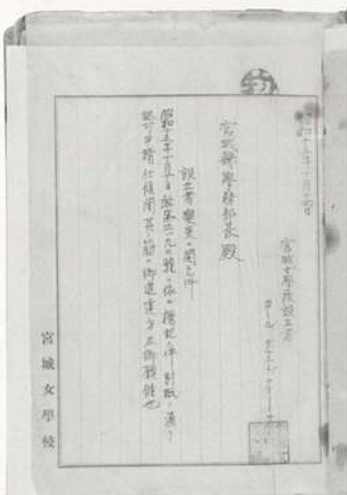
1940 (S15) 卒業記念アルバム



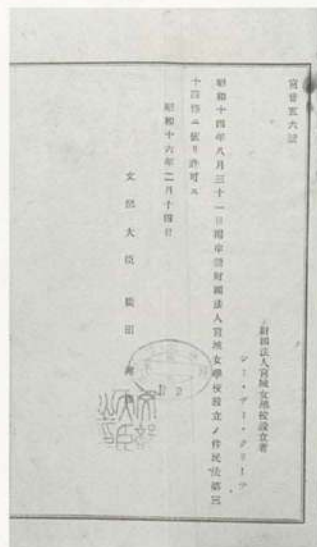
皇紀2600年を記念して、1940 (S15) の卒業アルバムは年号に皇紀を採用した MJG (宮城女学校) から校章へ



『橄欖』タブロイド版創刊号 1940 (S15) 5月15日発行



設立者変更申請書 1940 (S15) 10月14日



財団法人宮城女学校設立認可 1941 (S16) 2月14日

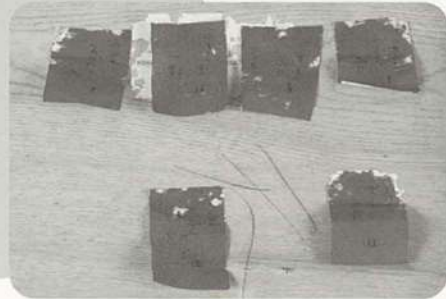
クリーテ校長の帰国と初代日本人校長



帰国直前の  
クリーテ校長夫妻  
1941(S16)5月



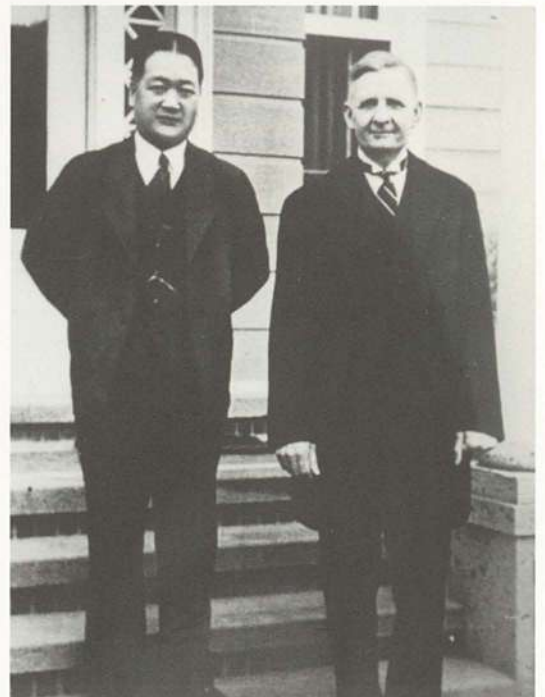
クリーテ夫人が寄贈した食器箱



食器の内訳ラベル



クリーテ校長とクリーテ夫人帰国の挨拶

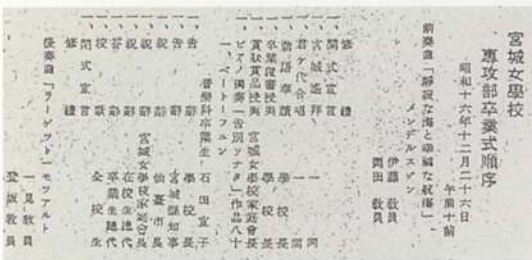


最後のアメリカ人校長C・D・クリーテと  
最初の日本人校長西山貞(第8代) 1941(S16)

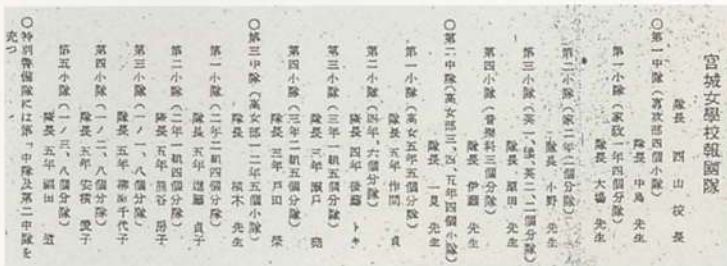
アジア・太平洋戦争の勃発



専攻部卒業式 1941(S16)12月26日  
対米英戦開始により  
卒業式が繰り上げられた  
12月8日に元寺小路教会(カトリック)  
に収容された宣教師も参列している



専攻部卒業式順序。讃美歌はない  
『橄欖』第18号 1942(S17)1月15日発行



1942(S17)1月15日発行『橄欖』第18号  
宮城女学校報国隊



音楽科卒業生演奏会 1942(S17)4月29日

# 奉安殿の建設



戦時体制に応じて作られた奉安殿(右奥) 1942(S17)2月

學校總務部

御眞影奉安殿建設會計報告

一、收入之部	
家庭會寄附金	三、三〇〇・二五
同窓會寄附金	一、〇〇〇・〇〇
銀行利息	七、一五三
借入金	一、三八九・九七
合計金	五、七六一・七五
一、支出之部	
地鎮祭費用	一五、〇〇〇
石井組文相玉垣	一、六〇〇・〇〇
開、奉安殿	三、八六二・五〇
設計及監費料	一五、〇〇〇
樹木移植費	八五、二二五
工事人謝禮	五、〇〇〇
合計金	五、七六一・七五

以上

1942(S17)4月15日発行「橄欖」第19号



御眞影非常時背負箱

「青少年学徒ニ賜ハリタル勅語」  
収納箱



「教育勅語」収納箱

青少年学徒ニ賜ハリタル勅語

國本ニ培ヒ國力ヲ養ヒ以テ國家隆昌、  
氣運ヲ永世ニ維持セムトスル任タル極  
メテ重ク道タル甚ク遠シ而シテ其ノ任  
實ニ繁リテ汝等青少年学徒ノ雙肩ニ在  
リ汝等其ノ氣節ヲ尚ヒ廉恥ヲ重シシ古  
今ノ史實ニ稽ヘ中外ノ事勢ニ鑒ミ其ノ  
思索ヲ精シ共ノ識見ヲ長シ執ル所中  
ヲ失ハズ嚮フ所正ヲ諒ラス各其ノ本分  
ヲ恪守シ文ヲ修メ武ヲ練リ質實剛健ノ  
氣風ヲ振勵シ以テ負荷ノ大任ヲ全クセ  
ムトヲ期セヨ

昭和十四年五月二十二日

1939(S14)5月22日公布「青少年学徒ニ賜ハリタル勅語」  
生徒に配布された

# 制服の変遷



1931 (S6) 制定の  
校服を着て  
3年生は2色のリボン  
中央はリンゼイ先生  
1939 (S14) 頃



制定の校服(1・2年生はネクタイ)  
1931 (S6)



全国統一型制服 六角池の前で 1942 (S17) 4月頃



全国統一型制服を着て 第一校舎の前で  
1943 (S18) 年4月頃

# 宮城高等女学校への改組と挺身隊

昭和十七年十二月二十九日  
財団法人宮城女学校  
理事長 一力次郎

寄附行為一部変更認可申請  
令財団法人宮城女学校寄附行為中一部変更致度係係  
御認可被成下度 理事會決議録相添へ此段及申請候也  
記

一、變更ノ條項 (朱書ノ通り改ム)

第二條 本法ハ教育勸励ノ聖旨ヲ奉體シテ女子ニ  
須要ナル教育ヲ施シ且基督敎ノ精神ニ基キ

品性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ宮城女学校ヲ維持  
經營ス

第三條 本寄附行為ハ在任理事五分之四以上ノ同意ヲ得  
主務官廳ノ認可ヲ得ルニテ之ヲ變更スルコトヲ  
得ズ 但第二條及第三條ハ變更スルコトヲ  
得ズ

第二條 本法ハ教育勸励ノ聖旨ヲ奉體シテ女子ニ  
須要ナル教育ヲ施シ且基督敎ノ精神ニ基キ

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ宮城高等女学校ヲ  
維持經營ス

第三條 本寄附行為ハ在任理事五分之四以上ノ同意ヲ得  
主務官廳ノ認可ヲ得ルニテ之ヲ變更スルコトヲ  
得ズ

二、變更ノ理由

第一條 時代趨勢ニ應ジ本法ノ目的ヲ單一純正トシ  
元ノ七二カ爲テ

第二條 昭和十八年四月一日ヨリ高等女学校令ニ準據シテ  
新ニ私立高等女学校ヲ設置セシムルコトヲ

第三條 本寄附行為第二條ノ變更ヲ可能ナシムルコトヲ  
本條ヲ  
變更セトスルコトヲ

昭和十八年三月九日

寄附行為一部変更認可申請

令財団法人宮城女学校寄附行為中一部変更致度係係  
御認可被成下度 理事會決議録相添へ此段及申請候也  
記

一、變更ノ條項 (朱書ノ通り改ム)

第二條 本法ハ教育勸励ノ聖旨ヲ奉體シテ女子ニ  
須要ナル教育ヲ施シ且基督敎ノ精神ニ基キ

品性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ宮城女学校ヲ維持  
經營ス

第三條 本寄附行為ハ在任理事五分之四以上ノ同意ヲ得  
主務官廳ノ認可ヲ得ルニテ之ヲ變更スルコトヲ  
得ズ 但第二條及第三條ハ變更スルコトヲ  
得ズ

第二條 本法ハ教育勸励ノ聖旨ヲ奉體シテ女子ニ  
須要ナル教育ヲ施シ且基督敎ノ精神ニ基キ

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ宮城高等女学校ヲ  
維持經營ス

第三條 本寄附行為ハ在任理事五分之四以上ノ同意ヲ得  
主務官廳ノ認可ヲ得ルニテ之ヲ變更スルコトヲ  
得ズ

昭和十八年三月九日

寄附行為一部変更認可申請

令財団法人宮城女学校寄附行為中一部変更致度係係  
御認可被成下度 理事會決議録相添へ此段及申請候也  
記

一、變更ノ條項 (朱書ノ通り改ム)

第二條 本法ハ教育勸励ノ聖旨ヲ奉體シテ女子ニ  
須要ナル教育ヲ施シ且基督敎ノ精神ニ基キ

品性ヲ涵養スルヲ以テ目的トス

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ宮城女学校ヲ維持  
經營ス

第三條 本寄附行為ハ在任理事五分之四以上ノ同意ヲ得  
主務官廳ノ認可ヲ得ルニテ之ヲ變更スルコトヲ  
得ズ 但第二條及第三條ハ變更スルコトヲ  
得ズ

第二條 本法ハ教育勸励ノ聖旨ヲ奉體シテ女子ニ  
須要ナル教育ヲ施シ且基督敎ノ精神ニ基キ

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ宮城高等女学校ヲ  
維持經營ス

第三條 本寄附行為ハ在任理事五分之四以上ノ同意ヲ得  
主務官廳ノ認可ヲ得ルニテ之ヲ變更スルコトヲ  
得ズ

「寄附行為一部変更認可申請」1942 (S17) 12月29日  
高等女学校に改組するため、  
学校の理念である「基督敎ノ精神ニ基キ」が削除された



宮城高等女学校の校章

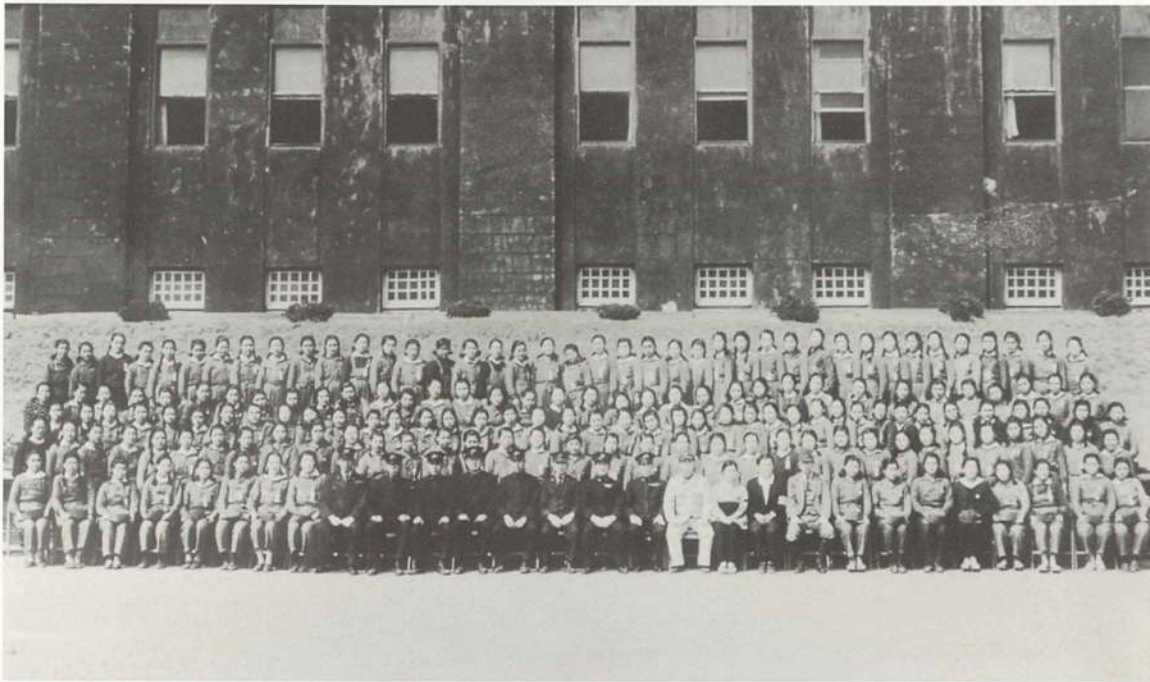


昭和18年度卒業予定者の女子挺身隊壮行式 1944 (S19) 1月18日  
翌日原町陸軍造兵廠に出動



1943 (S18) 3月13日発行「樞機」第21号  
1943 (S18) 4月から施行される「中等学校令」に対応し、  
学校を存続させるために宮城女学校は  
宮城高等女学校へと名称を変更した  
また、専攻部に国文科が新設された

横須賀海軍航空技術廠への動員



横須賀海軍航空技術廠庁舎の前で 1945(S20)3月



引率教員と寮監 宿舍の校舎入口にて  
1944(S19)11月頃

動員された生徒の宿舍となった浦郷国民学校(横須賀市追浜)  
1945(S20)



動員された生徒たちの職場での集合写真  
1944(S19)11月頃



# 動員された生徒たち

横須賀に動員された生徒たち(背後の飛行機は写真館の撮影背景)



多賀城に動員された生徒たち



# 仙台空襲の被災



空襲で罹災した仙台市街 1945(S20)



焼けた第一校舎から出てきた定礎格納品



1946 ~ 1980

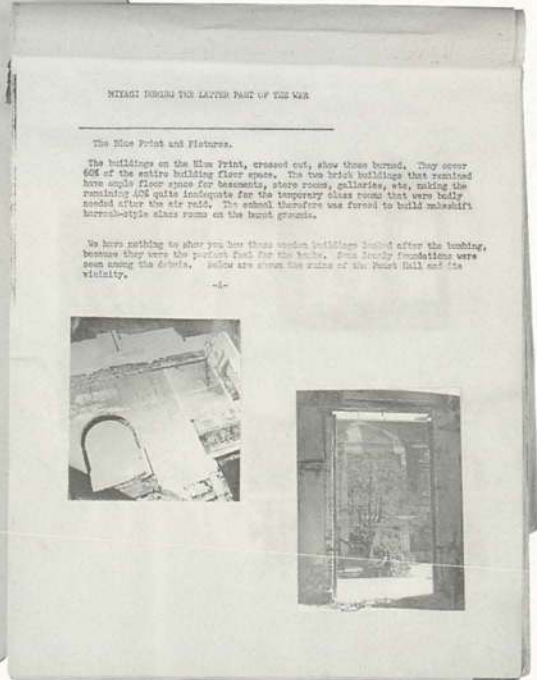
戦後の復興から東三番丁校舎最後の卒業式まで



- 1946:S21 この頃西山貞、初代学院長となる(のち、第4代理事長、初代学長、初代中高校長を兼ねる)
- 6月29日 専門学校令による宮城学院女子専門学校設置許可  
7月10日 宮城高等女学校は宮城学院高等女学校と改称認可
- 1947:S22 4月 1日 新学制により宮城学院中学校設置
- 1948:S23 4月 9日 新学制により宮城学院高等学校設置  
8月31日 第1校舎修復工事完成
- 1949:S24 2月21日 宮城学院女子大学設置認可
- 1950:S25 3月14日 宮城学院女子短期大学設置認可
- 1951:S26 3月 9日 「学校法人宮城学院」設立認可
- 1953:S28 5月 1日 大学本館新築工事完成
- 1956:S31 3月 2日 宮城学院女子短期大学附属幼稚園設置認可
- 1960:S35 4月 1日 小田信士、第2代学院長・第2代学長・第2代中高校長に就任
- 1961:S36 5月23日 高等学校新校舎落成
- 1964:S39 1月10日 大学新館建築工事竣工
- 1969:S44 4月 1日 阪田勝三、公選制最初の大学・短大学長(第3代学長)に就任
- 1970:S45 4月 1日 大沼隆、公選制最初の中高校長(第3代校長)に就任  
10月 9日 大講堂設置のパイプオルガン奉獻式
- 1978:S53 10月16日 「桜ヶ丘校地」への総合移転建設工事起工式



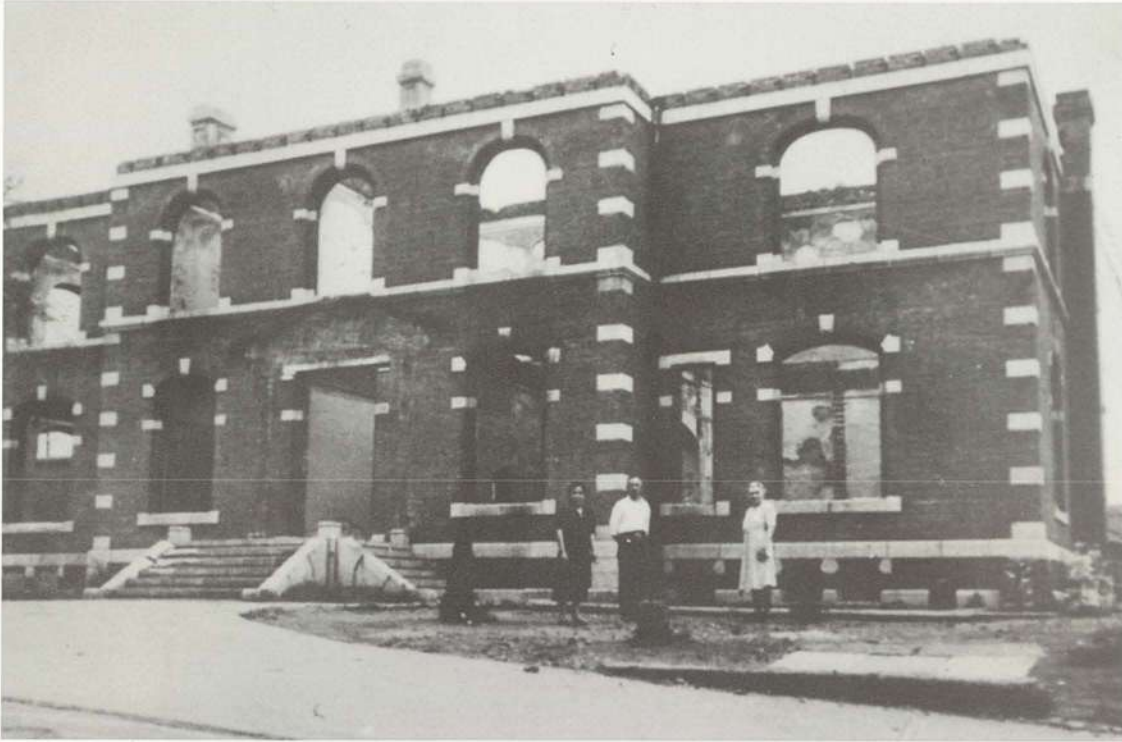
爆撃された第一校舎前に立つ  
ハンセン先生 1947(S22)夏



学校法人百葉学院 臨時費に対する現在までのIBC援助  
(昭和32年9月18日付内外協力会文書に対する回答) 36,210,000

目的	延坪数	竣工年月	実費	自己資金	IBC援助額	備考
敷地賃借 建物1210坪 土地982坪		自21年3月 至26年1月	9,329,996.00	851,101.70	8,478,894.30	オ三校舎 飯才四校舎 飯才五校舎 オ一校舎 才母校舎 高校敷地 院敷地賃借
同上	728.5坪	24年11月	16,978,806.50	978,805.70	18,000,000.80	オ六校舎新築 50,000
同上		24年11月	2,421,090.00	621,089.00	1,800,001.00	大講堂 院敷宅 修繕工事 50,000
同上	385坪	25年9月	7,514,031.00	345,024.74	7,169,006.26	オ五校舎 新築
同上		自23年 至27年	1,425,085.40	1,425,085.40	0	倉庫改築 飯才倉庫増設 オ二校舎園地切取費等
同上	建物197坪 土地563.86坪	25年4月	6,067,216.20	656,275.40	5,399,998.80	オ一階宿舍オ一期工事 (土地購入を含む)
同上	171坪	28年4月	7,163,060.00		7,174,002.00	オ一階宿舍オ二期工事 (増築)
オ1階宿舍	建物31.98坪	30年5月	1,541,352.00	0	1,541,352.00	増築契約金は1,675,000円で 不足分は借費充当とした
同上	670坪	28年3月	70,561,118.00		71,690,000.00	大学本館 新築
同上	42.75坪	30年4月	2,664,290.00	1,535,408.00	0	図書館 (1,770,000円) 学生ホール改築
体育館	272坪	30年5月	20,400,527.00	9,624,527.00	10,776,000.00	新築
オ3階宿舍	401.36坪	30年1月	4,200,000.00	0	4,200,000.00	土地買収
幼稚園 預育利校舎	土地315坪 528.17坪	31年2月	22,265,939.00	713,939.00	21,552,000.00	新築 土地買収
施設費		31年3月	5,276,174.00	5,276,174.00	0	校舎内の設備改善
修繕費		同	278,739.00	0	278,739.00	ピアノ移設
施設費		32年3月	2,898,736.00	2,898,736.00	0	図書ビル購入、校舎内設備改修等
小計			187,986,166.10	24,076,165.14	158,759,994.10	

MIYAGI NEEDS YOUR HELP NOW! 1949(S24)、ミッション・ボード(海外伝道局)へ出された戦災復興援助を願う文書  
これに応じてアメリカの教会から献金が送られ、大学本館その他の建築がなされた



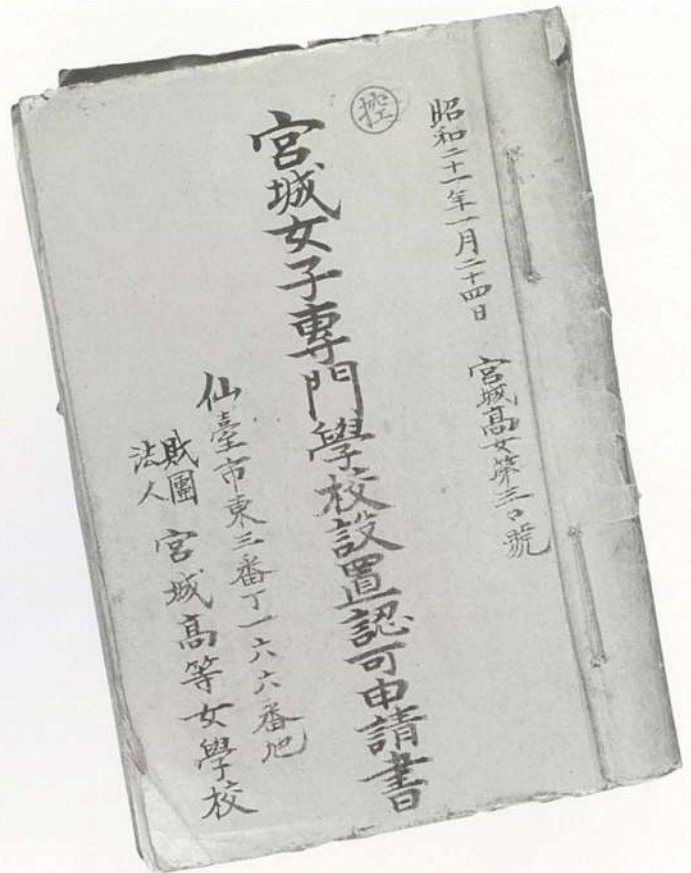
外壁だけ残った第一校舎前で 1947 (S22)



戦後のバラック校舎 1946 (S21)



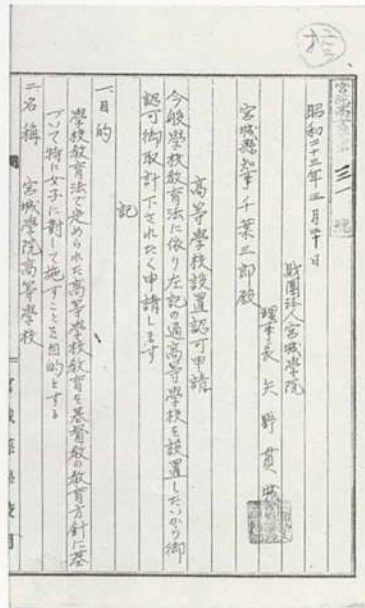
初代学院長  
西山 貞  
1946-1960



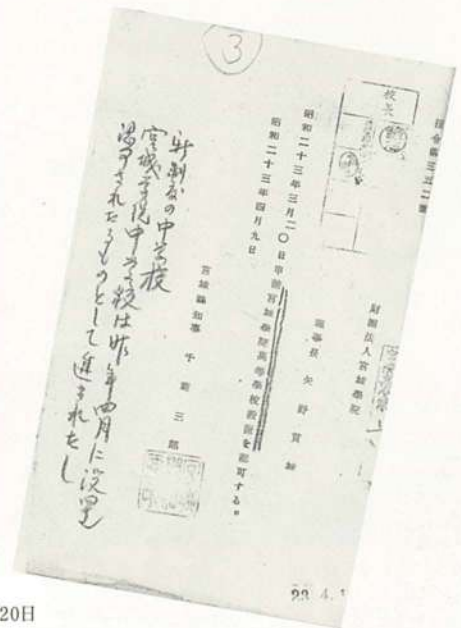
宮城女子専門学校設置認可申請書 1946 (S21) 1月24日  
同年6月29日に許可



中学校設置認可申請 1948 (S23) 3月20日

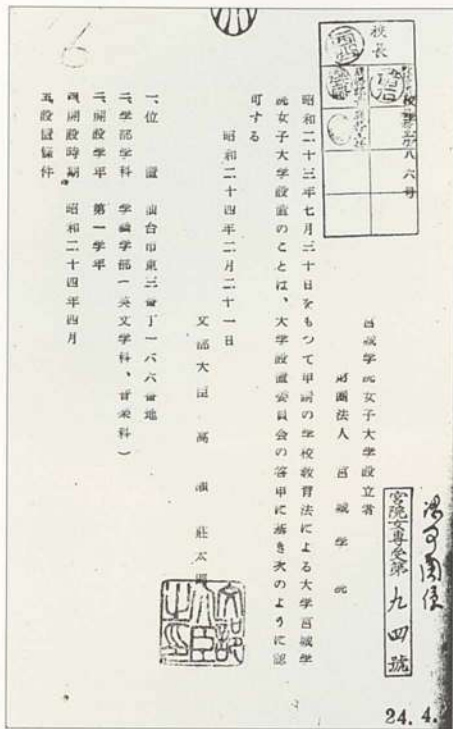


高等学校設置認可申請 1948 (S23) 3月20日

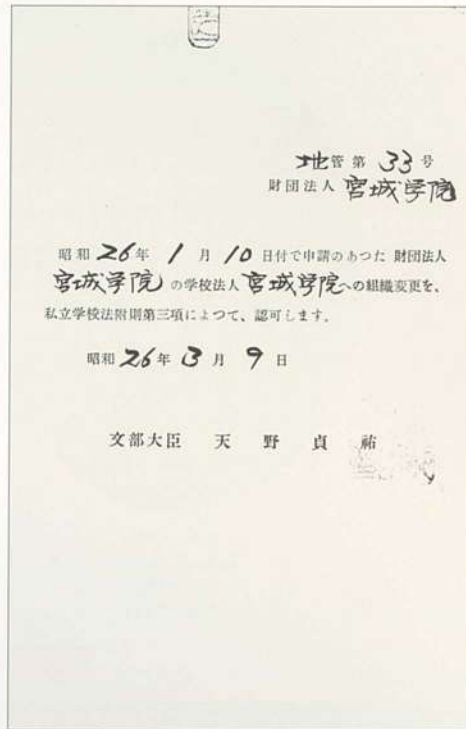


高等学校・中学校設置認可 1948 (S23) 4月9日

# 宮城学院女子大学設置と学校法人「宮城学院」の設立



大学設置認可 1949 (S24) 2月21日



学校法人への組織変更認可書 1951 (S26) 3月9日



女子大学、女子短期大学の標札をかけた校門 1950 (S25)

# ハンセン・リンゼイ先生の離任・帰国と大学本館の落成

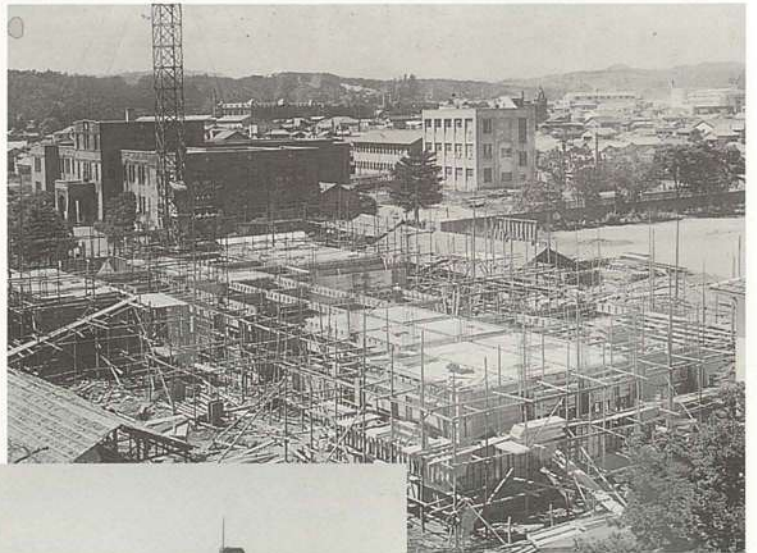
ハンセン先生とリンゼイ先生は、大学の音楽科と英文学科の設立に貢献し、1951年離任帰国した



K・I・ハンセン  
Kate I. Hansen  
1907-1941  
1947-1951



L・A・リンゼイ  
Lydia A. Lindsey  
1907-1941  
1947-1951

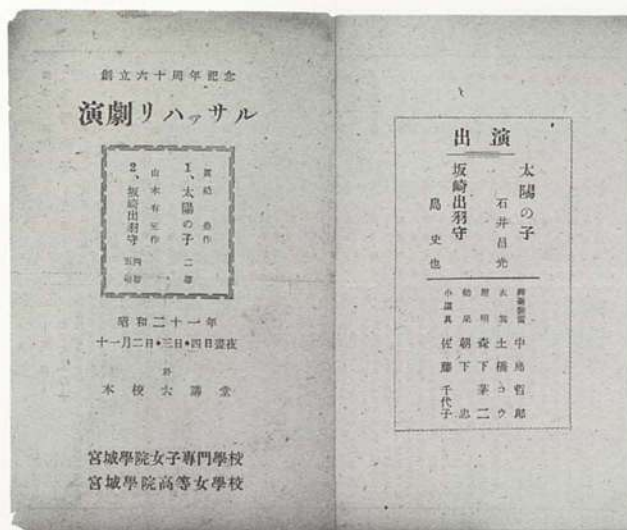


大学本館全景 1953(S28)



大学本館基礎工事 1952(S27)

創立60周年とヘレン・ケラー講演会



創立60周年記念演劇「坂崎出羽守」「太陽の子」  
1946 (S21) 11月2日～4日公演



「坂崎出羽守」舞台場面

「太陽の子」出演者と共に



ヘレン・ケラーの来仙  
1948 (S23) 9月



1948 (S23) 9月12日曜日「河北新報」  
宮城学院での講演会について報じている

戦後の宣教師たち



後列 マーガレット・S・アンケニー  
1915-1941、1947-1950、1954-1963  
右 ガートルド・B・ホーイ  
1949-1958  
左 エラ・N・ニコデマス  
1934-1953



M・A・ガーナー  
Margaret A. Garner  
1949-1991

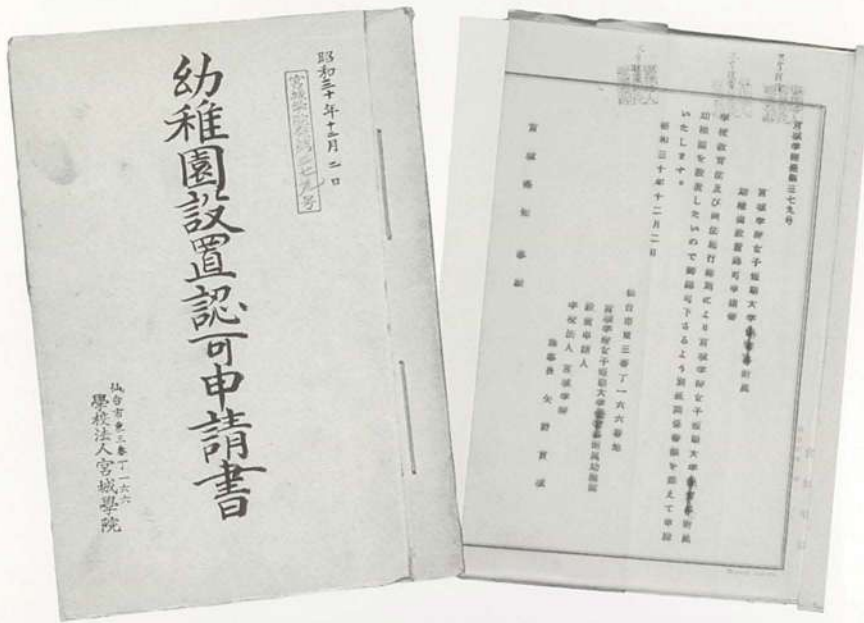


J・J・ランディス  
Janell J. Landis  
1953-1985



W・S・カンディフ  
William S. Cundiff  
1952-1995

# 幼稚園設立



この申請に対し宮城学院女子短期大学附属幼稚園の設置が認可された  
1956 (S31) 3月2日



幼稚園開園式  
1956 (S31)



第1回入園式のあとで 1956 (S31) 4月

開園当時の幼稚園



クリスマス・ページェント 1956(S31)



第1回卒園式 1957(S32)3月



お話をしているのは  
初代園長のE・M・シッブル先生

1950年代の学校



放課後の図書館にて(中高) 1951(S26)

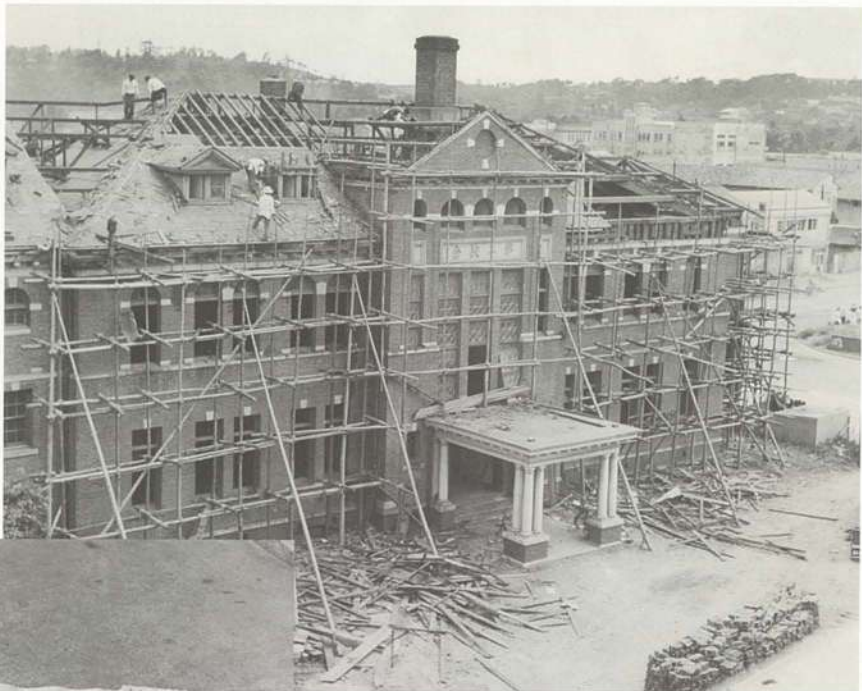


化学の授業(大学) 1953(S28)

カルタ班の活動 1956(S31)



クリスマス・ページェント(中高)  
1956(S31)



第二校舎西側解体工事 1957(S32)8月



第二校舎解体工事により取り出された定礎石



東二番丁通り拡幅のため解体し、第二校舎新館を建築 1958(S33)6月



第2代学院長  
小田信士  
1960-1972

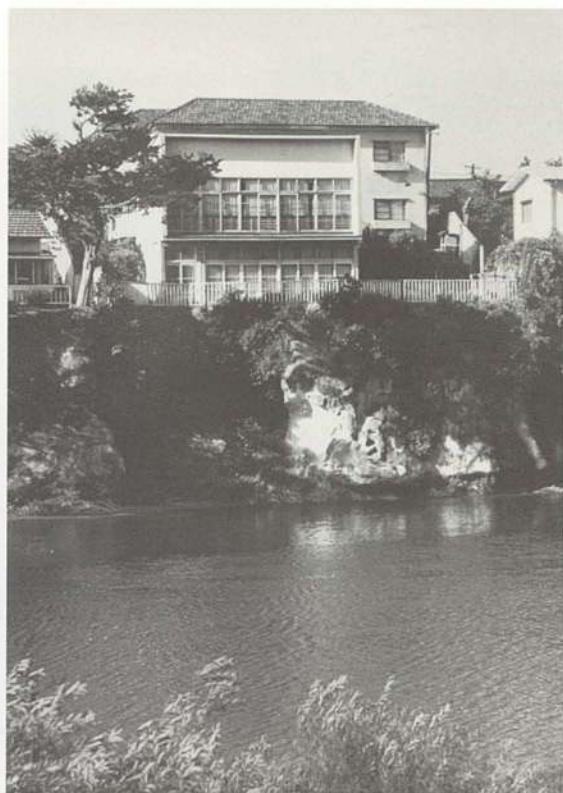


当時の東三番丁キャンパス全景 1964 (S39)



大学1号館 1967 (S42)

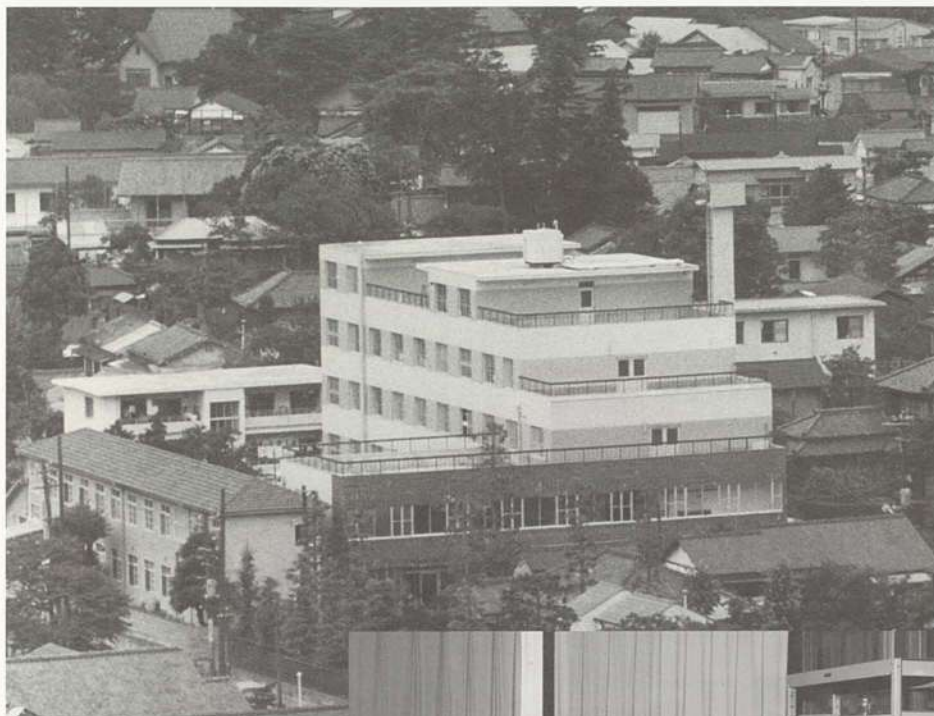
寮での勉強の様子



土樋寮外観 1950(S25)



寮でのクリスマス(昭和20年代後半)



米ヶ袋大学寮 1965 (S40)

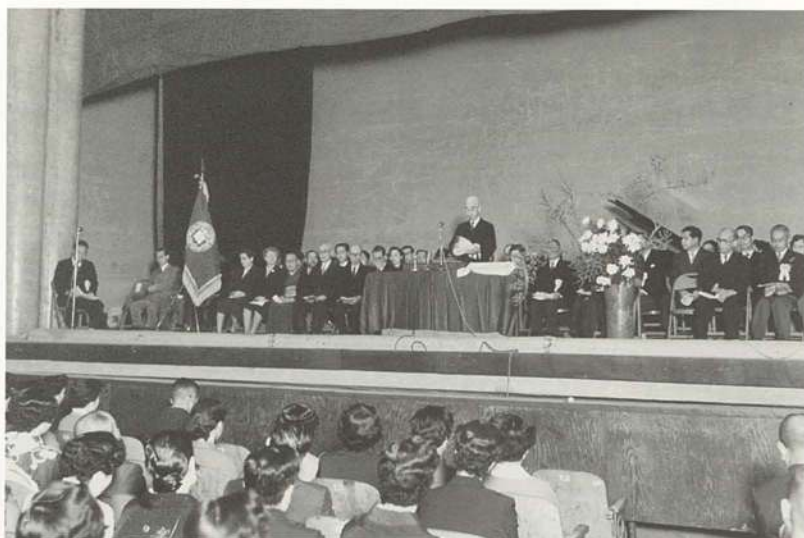


寮でのひととき 昭和40年代



愛子スクールハウス  
1967 (S42)

創立70周年・75周年

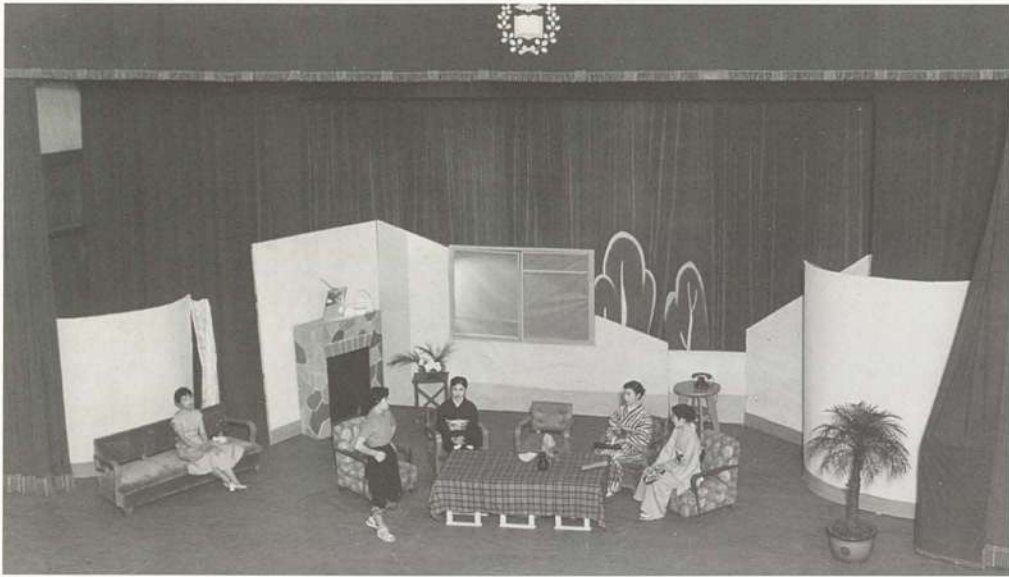


創立70周年式典  
仙台市公会堂  
1955 (S30) 10月10日



創立70周年記念全学院運動会  
1955 (S30) 10月17日





創立70周年記念 高校演劇「夏の夜ばなし」 1955(S30)10月



創立70周年記念新設体育館落成  
体育館開き  
1955(S30)10月



創立75周年記念音楽祭 ハンセン先生・リンゼイ先生と共に 1961(S36)

1960年代の学校



ストーブを囲んで(高校)  
1960(S35)



中学・高校の食堂



中学生・高校生の制服一覧



英文学科英語劇「ハムレット」  
1965(S40)



高等学校フェンシング班 1963(S38)



ランディス先生の指人形 昭和40年代



森下金二郎教授最終講義 1979(S54)3月



講義しているのは  
公選最初の学長坂田勝三教授  
1979(S54)3月



英文学科にLL導入



調理実習

学生憩いの場



1970年頃の学生食堂



噴水を囲んで

1970年代の学校



第3代学院長  
佐藤昌彦  
1973.4-1974.8

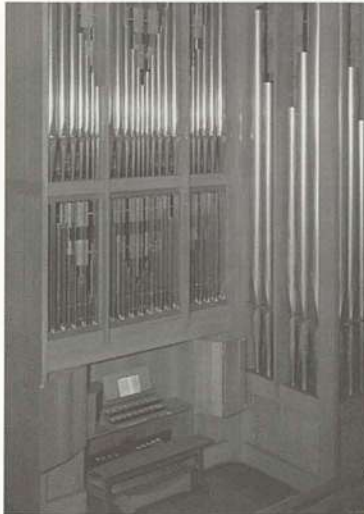


第4代学院長  
清水二郎  
1975.4-1978.9

第八條	第一節	第六條
（一）	（一）	（一）
（二）	（二）	（二）
（三）	（三）	（三）
（四）	（四）	（四）
（五）	（五）	（五）
（六）	（六）	（六）
（七）	（七）	（七）
（八）	（八）	（八）
（九）	（九）	（九）
（十）	（十）	（十）
（十一）	（十一）	（十一）
（十二）	（十二）	（十二）
（十三）	（十三）	（十三）
（十四）	（十四）	（十四）
（十五）	（十五）	（十五）
（十六）	（十六）	（十六）
（十七）	（十七）	（十七）
（十八）	（十八）	（十八）
（十九）	（十九）	（十九）
（二十）	（二十）	（二十）



制度改革による寄附行為の一部変更  
1969(S44)9月3日認可  
60年代末から制度改革が行なわれ70年代に入った



大講堂にパイプオルガン設置  
1970(S45)

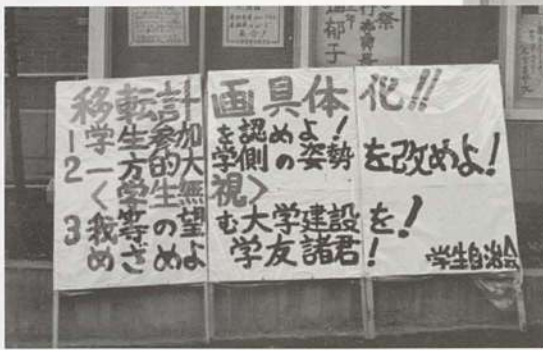


大学の朝の礼拝(大講堂)

# 大学紛争と中高教員のストライキ



学生集会 1970 (S45)



1973 (S48)



1971 (S46)



「授業料値上げ反対」中高教職員組合のストライキ 1973 (S48)



ストライキ権確立宣言



創立85周年記念 森有正ノリ大学教授の講演とパイプオルガン演奏 1971(S46)10月

創立90周年記念式典 1976(S51)



創立90周年記念 武田清子ICU教授の講演 1976(S51)10月

学園生活の諸相



中高授業の風景  
当時は1クラス50名を超えた  
1976 (S51)



大学YWCA



軽井沢山荘  
1957年 (S32) にハンセン・リンゼイ両先生より別荘が同窓会へ寄贈され、  
学生・同窓生の憩いの場、研修の場として利用された

東三番丁での最後の修了式・卒業式



幼稚園 1980(S55)3月15日

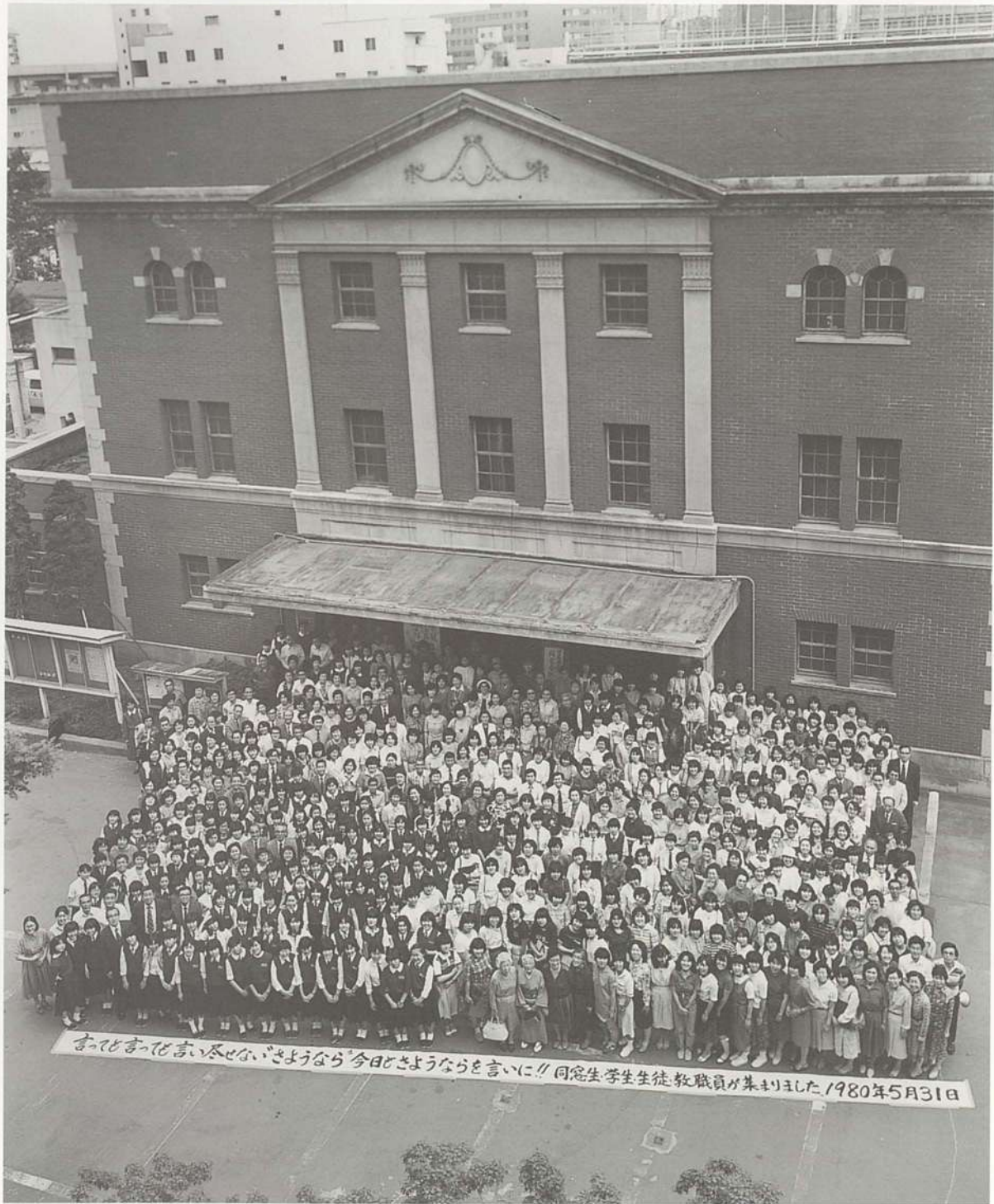


大学・短期大学  
1980(S55)3月21日



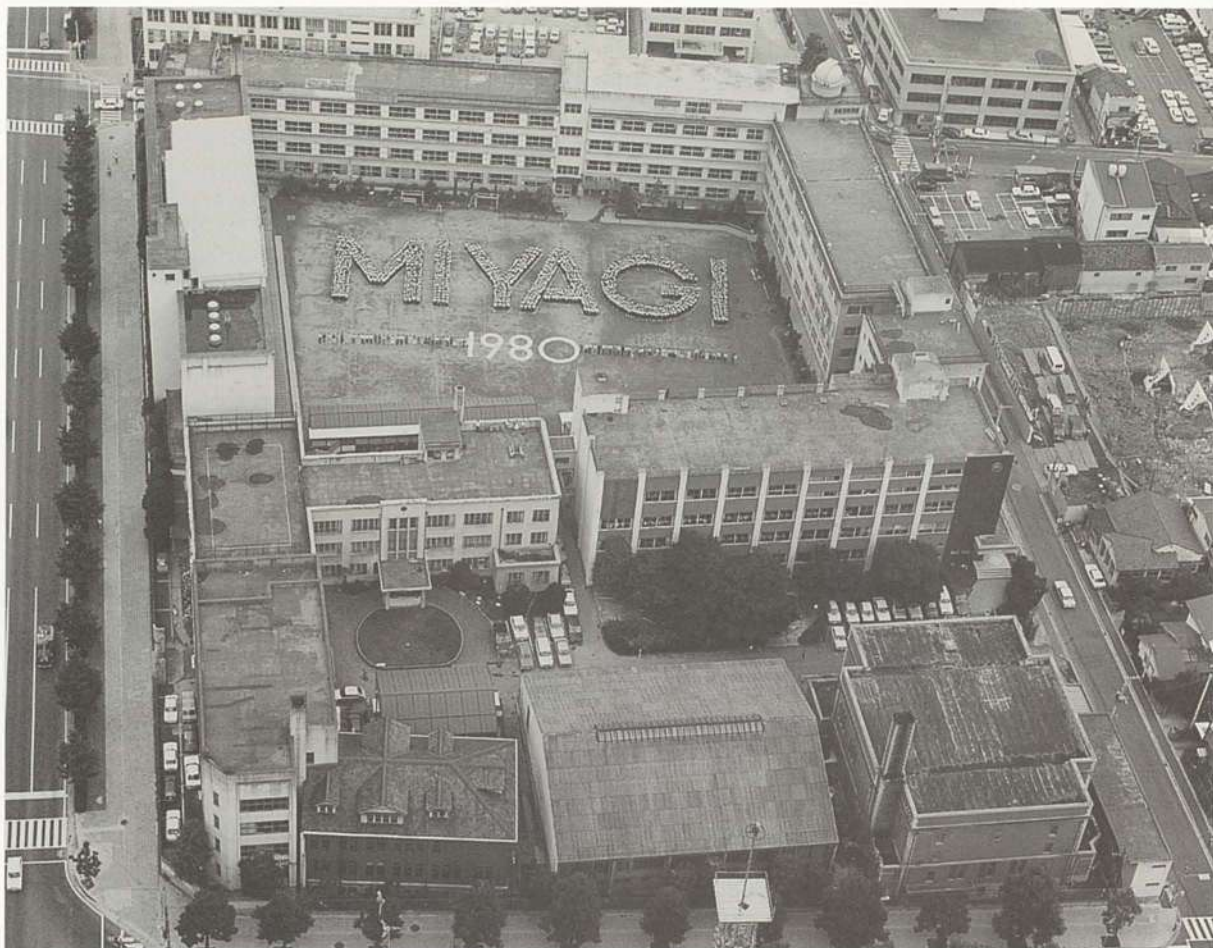
高等学校 1980(S55)3月1日 中学校 3月24日

さよなら東三番丁



おとぎ事なさいよ、さよなら今日とさよならをいいに!! 同窓生学生生徒教職員が集まりました1980年5月31日

さようなら……東三番丁 1980(S55)5月31日



キャンパス全景と人文字 1980(S55)7月26日 7号館解体中



さようなら東三番丁  
宮城学院同窓会総会 1980(S55)5月1日



1980 ~ 2006

新キャンパス落成から創立120周年まで



- 1980 : S55 10月25日 宮城学院新キャンパス落成献堂記念式典  
1981 : S56 5月17日 同窓会第1回「ホームカミングデー」  
1982 : S57 10月 2日 中学校・高等学校講堂設置のパイプオルガン奉献式  
1985 : S60 12月 4日 ハンセン・メモリアル・ホール設置のパイプオルガン奉献式  
1986 : S61 10月11日 創立100周年記念式典  
1991 : H3 12月 9日 宮城学院女子大学、ハイデルバーグ大学と姉妹校協定調印式  
1995 : H7 4月17日 「宮城学院女子大学大学院」開学記念礼拝及び入学式  
1996 : H8 3月21日 大学・短大「第2講義館」増築献堂式  
10月 5日 創立110周年記念礼拝並びに記念式  
1999 : H11 5月14日 中高新館「ランディス館」定礎式・献堂式  
10月 9日 大学・短期大学設置50周年記念礼拝・記念式・祝賀会  
2000 : H12 3月28日 第2家政館新築並びに第2講義館増築献堂式  
4月 1日 大学学芸学部が8学科となる  
2001 : H13 3月30日 宮城学院女子短期大学廃止認可申請  
2005 : H17 10月16日 創立120周年記念中高演奏会(プレ行事)  
10月21日 附属幼稚園創立50周年記念式典・祝賀会  
2006 : H18 9月30日 創立120周年記念礼拝・礼拝堂増築献堂式

桜ヶ丘キャンパスへの総合移転



移転当時の桜ヶ丘キャンパス



第7代理事長  
佐藤利吉  
1969-1992



第5代学院長  
早坂禮吾  
1979-1987



総合移転建設工事契約調印式 1978(S53)7月31日

新キャンパスの工事進む



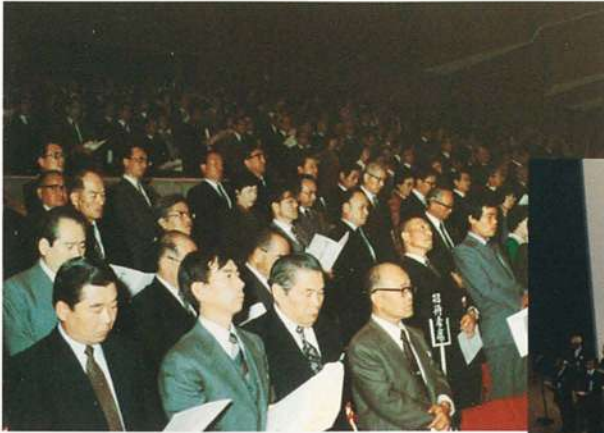
建設中のロータリー  
1980(S55)10月



礼拝堂定礎式 1980(S55)8月22日



# 新キャンパス落成献堂式



落成献堂式 1980(S55)10月25日



新キャンパス落成献堂記念祝会 1980(S55)10月25日



創立95周年の頃



創立95周年記念式 1981(S56)10月9日



同窓会第1回ホームカミングデー 1981(S56)5月17日



第70回キリスト教学校教育同盟総会 1982(S57)6月4日～5日

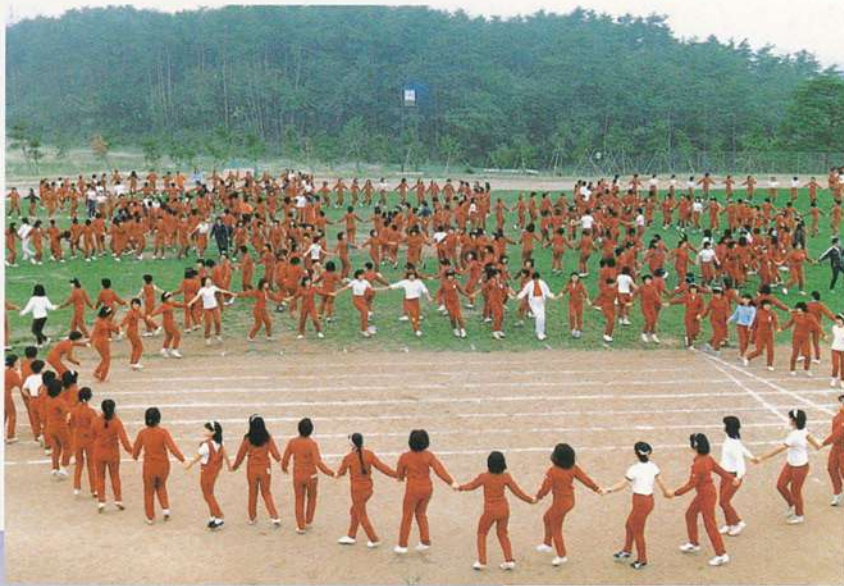
新キャンパスの風景

新キャンパスの風景



新礼拝堂でのクリスマス

広くなったグラウンドでの  
運動会



ピアノ池のほとり



創立100周年記念式典・祝賀会受付 1986(S61)10月11日



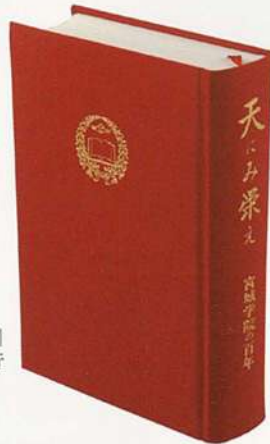
創立100周年記念式典 1986(S61)10月11日



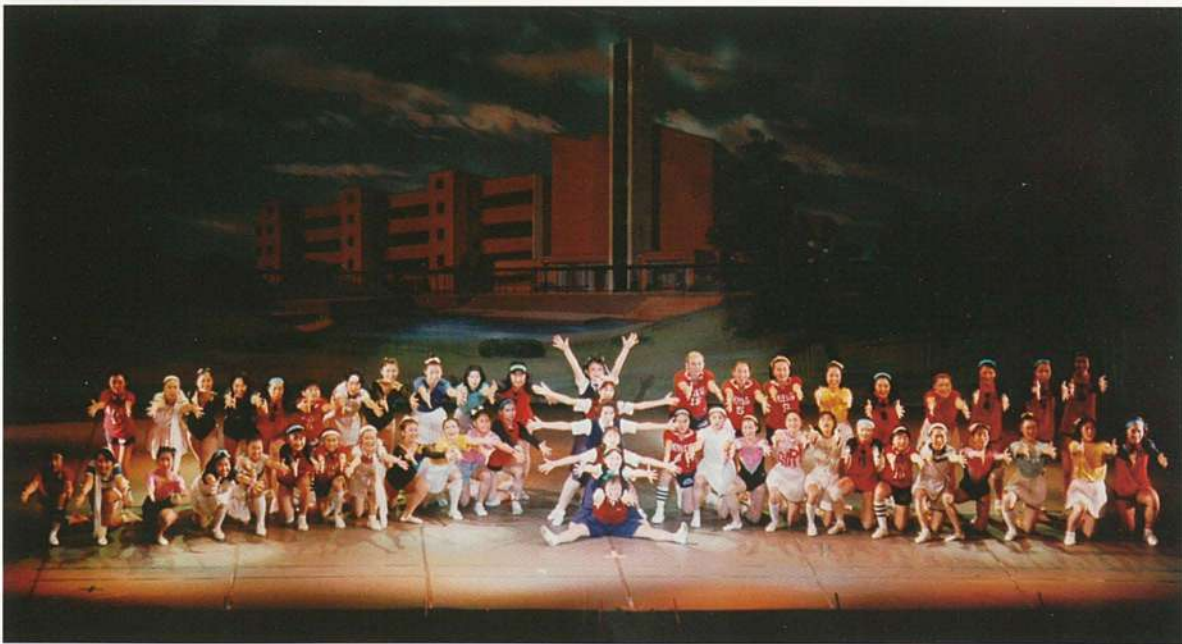
創立100周年記念幼稚園大運動会  
1986 (S61) 9月21日



佐藤忠良作 「帽子の像」  
創立100周年記念彫刻  
1986 (S61) 10月9日除幕



「天にみ栄え 宮城学院の百年」  
1987 (S62) 3月31日発行



創立100周年記念オリジナル・ミュージカル「ハート・バイ・ハート・ツアー」  
1986 (S61) 10月15日~18日

宮城学院女子大学の発展

生涯学習講座  
山室学院長の講演  
1990 (H2)



第6代学院長  
山室 章  
1987-1991



ハイデルバーグ大学との  
姉妹校調印式  
1991 (H3) 12月9日

両校の校旗



短大教養科を大学人間文化学科に改組 1995 (H7) 4月  
同学科授業風景 (文化史演習)



大学院開学記念礼拝・入学式  
1995 (H7) 4月17日

同窓会の新たな活動



宮城学院同窓会100周年展  
1994 (H6) 9月16日~21日



同窓会主催  
創立記念墓前礼拝 1996 (H8) 9月20日



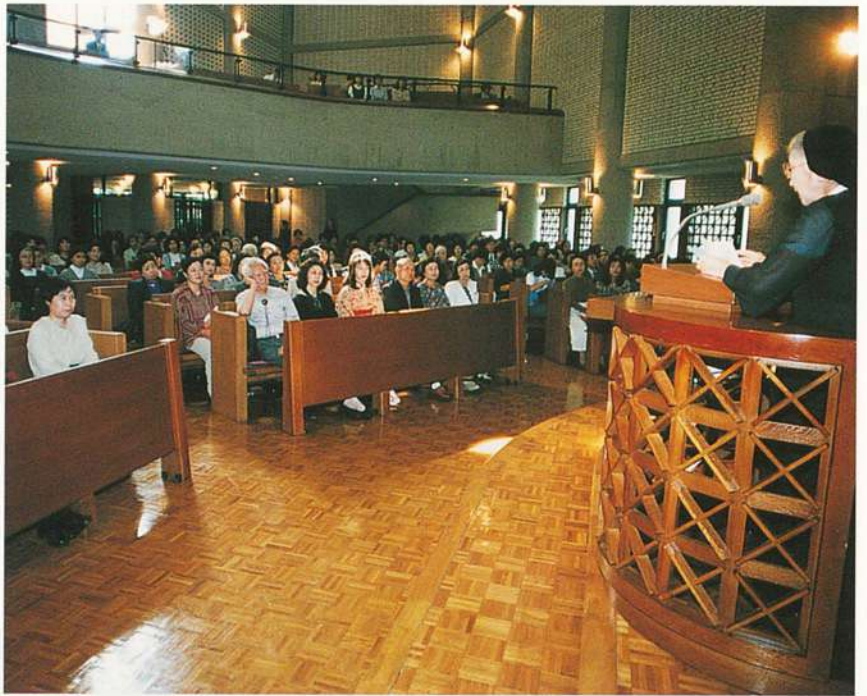
創立110周年記念  
同窓会第16回ホームカミングデー 1996 (H8) 5月19日

創立110周年

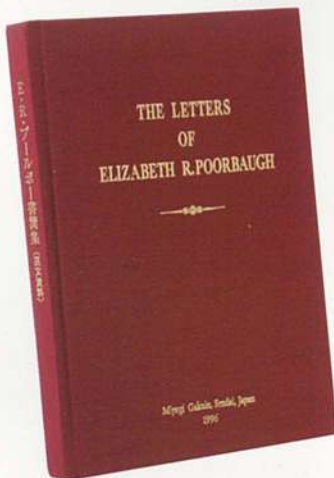


第7代学院長  
小野忠信  
1992-1996

創立110周年記念文化講演会  
渡辺和子ノートルダム清心学園理事長  
1996 (H8) 10月6日



創立110周年記念演奏会 1996 (H8) 10月6日



『E・R・プールポー書簡集』  
1996 (H8) 7月1日発行



創立110周年記念夏祭り子ども会  
1996 (H8) 8月

21世紀へ



深谷松男第8代学院長就任式  
1999 (H11)5月29日



大学・短大創立50周年



大学・短大50周年記念式 1999 (H11)10月9日



大学・短大50周年展 1999 (H11)10月

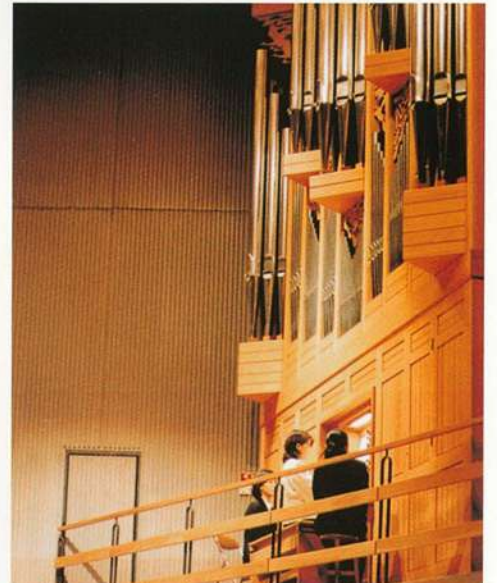
施設の拡充とガーナー先生記念碑



同窓会寄贈  
ガーナー先生記念碑  
2002 (H14) 10月26日除幕



大学第2講義館(K棟) 1992 (H4) 4月18日献堂



ケート・I・ハンセン メモリアルホールにオルガン設置 1985 (S60)



中高ランディス館 1999 (H11) 5月14日献堂



宮城学院前道路地下歩道開通式  
1991 (H3) 1月29日

# 短大の改組転換と大学の学科増設



さよなら保育科 2001 (H13)3月3日

家政科の半世紀を振り返る会 2001 (H13)3月3日



第二家政館 2000 (H12) 3月28日献堂



大学学芸学部が8学科となった揭示板 2000 (H12) 4月1日

戦時下の宮城学院展と  
ハンセン資料展



宮城高等女学校第53回生卒業記念の会 2000 (H12) 10月21日  
学徒動員のため本校で卒業式の出来なかったクラス



戦時下の宮城学院展パンフレット  
2002 (H14) 11月15日～20日



戦時下女学校の学徒勤労働員 証言を聞く会  
県民会館 2004 (H16) 10月31日

戦時下女学校の学徒勤労働員展パンフレット  
2004 (H16) 10月29日～11月3日



ハンセン資料展「宮城学院と仙台」  
電力ホール・グリーンプラザ  
2003 (H15) 11月11日～16日

## ハートフル・ボランティア活動とハートフル童話集



ボランティア活動 小学校での学習支援(大学)



ハートフル童話集



高校吹奏楽班による気仙沼養護学校でのボランティア演奏 2006(H18)2月

幼稚園創立50周年



現在の幼稚園舎

創立50周年おめでとう!  
2005 (H17) 9月



幼稚園創立50周年記念誌  
【わすれなぐさ】



創立50周年記念式 礼拝堂にて 2005 (H17) 10月

# 幼稚園の礼拝



花の日礼拝 1995(H7)



アメン 1979(S54)



収穫感謝祭 1995(H7)



クリスマス・ページェント 1995(H7)



中学校・高等学校運動会



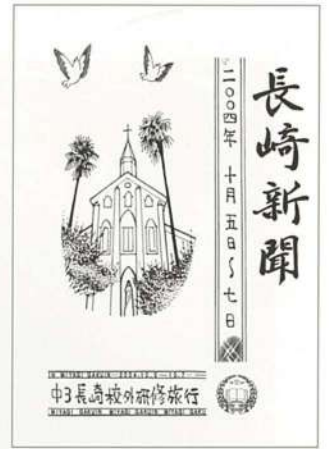
仙台サンプラザでの公開クリスマス・ページェント



大学講堂でのオーケストラの演奏と合唱



高校校外研修旅行(京都・奈良)



中学校校外研修旅行(初めて長崎へ)の生徒たちのレポート



文化祭



海外研修(オーストラリア方面)

現在の大学



食品栄養学科



国際文化学科



人間文化学科



音楽科



発達臨床学科



英文学科



生活文化学科



日本文学科

宮城学院



大学祭



ラウンジでのミニ・コンサート

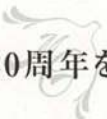


クリスマス・リース



礼拝堂・ピアノ池のクリスマス・イルミネーション

創立120周年を迎える



記念テーマとロゴマーク



第1回建学の精神研修会 2006 (H18) 8月17日



定期理事会 2006 (H18) 7月



中高生が120周年記念に折鶴で作ったモニュメント (2006年文化祭)



# 宮城学院百二十年史略年表



- 1886(明治19)年 ●9月18日、押川方義牧師ら日本人キリスト者とウイリアム・E・ホーイら合衆国改革派教会宣教師により「宮城女学校」創立 校主押川方義、初代校長エリザベス・R・ブルボー  
●9月24日、東二番丁51番地、田辺繁久県会議員別邸にて授業開始
- 1887(明治20)年 ●校地2400余坪(東三番丁162番地～169番地)を購入
- 1889(明治22)年 ●4月、校舎竣工につき田辺邸より移転  
●7月5日、校舎献堂式
- 1890(明治23)年 ●学則を変更し、予科3年、本科4年とする  
●9月、文学会誌『宮城野』発行
- 1893(明治26)年 ●6月29日、第1回卒業式(卒業生4名)  
●9月、J・P・モール第2代校長に就任
- 1894(明治27)年 ●9月、L・ズーフル第3代校長に就任
- 1897(明治30)年 ●9月14日、バイブルハウス竣工
- 1898(明治31)年 ●11月26日、本科を5年に延長
- 1899(明治32)年 ●外国人校主制許可
- 1900(明治33)年 ●聖書専攻科(1年制)設置
- 1902(明治35)年 ●3月8日、浴場より出火、校舎を全焼し、片平丁旧知事官舎に移転
- 1903(明治36)年 ●9月、寄宿舎を旧校地に新築し、片平丁仮校舎から移転
- 1904(明治37)年 ●6月2日、第一校舎献堂式
- 1906(明治39)年 ●3月16日、宮城女学校基督教女子青年会(宮城女学校YWCA)創立
- 1908(明治41)年 ●4月、H・K・ミラー第4代校長に就任
- 1909(明治42)年 ●3月、『宮城野』を廃し、文学会誌『萩の下露』発行  
●9月、S・L・ワイドナー第5代校長に就任
- 1910(明治43)年 ●4月、校旗制定し、教職員・生徒より寄贈  
●8月12日、予科を廃し本科を高等女学科(5年制)と改称
- 1911(明治44)年 ●高等女学校令による高等女学校の認可  
●10月25日、創立25周年記念祝賀式
- 1912(明治45・大正元)年 ●4月、家政専攻科(3年制)設置
- 1913(大正 2)年 ●4月、英文専攻科(3年制)設置  
●7月、A・K・ファウスト第6代校長に就任
- 1914(大正 3)年 ●6月2日、寄附行為(CONSTITUTION)制定  
●10月20日、理事会組織発足
- 1916(大正 5)年 ●4月、音楽専攻科(3年制)設置  
●同月、聖書専攻科(2年制)設置
- 1918(大正 7)年 ●5月28日、第二校舎献堂式  
●10月15日、『校報』創刊
- 1921(大正10)年 ●6月30日、雑誌『概覧』創刊  
●文学会を校友会と改称
- 1925(大正14)年 ●4月、専攻科をすべて3年制とする
- 1926(大正15・昭和元)年 ●3月23日、増築第二校舎(ヴォーンホルト記念校舎)献堂式  
●10月20日、創立40周年記念祝賀会開催



# 宮城学院百二十年史略年表



- 1928 (昭和 3) 年 ●3月8日、英文科に中等教員無試験検定取扱許可
- 1930 (昭和 5) 年 ●5月、C・D・クリーテ第7代校長に就任
- 1931 (昭和 6) 年 ●音楽科に師範科及び研究科を設置  
●校服制定  
●12月26日、ファウスト記念館献堂式
- 1935 (昭和10) 年 ●7月22日校友会・同窓会主催、市教育会・河北新報社後援の第1回仙台夏季婦人講座開催
- 1936 (昭和11) 年 ●11月2日、創立50周年記念式典  
●12月23日、『宮城女学校五十年史』刊行  
●この頃、専攻科を専攻部と改称
- 1937 (昭和12) 年 ●12月12日、宮城女学校家庭会設立  
●12月30日、大講堂新築落成
- 1938 (昭和13) 年 ●5月5日、勤労奉仕を開始
- 1940 (昭和15) 年 ●9月、クリーテ校長辞職・帰米のため、一見清校長事務取扱となる  
●11月10日、紀元2600年記念式
- 1941 (昭和16) 年 ●2月、校地・校舎が在日宣教師社団より宮城女学校へ寄附され、財団法人宮城女学校設立許可。  
初代理事長一見清  
●2月21日、奉安殿建設の件県知事より許可  
●3月、聖書科廃止  
●6月3日、宮城女学校報国団成立  
●7月、西山貞、第8代校長に就任  
●12月8日、日本、米英に宣戦布告、アジア・太平洋戦争開始  
●12月9日、アメリカ人教員全員辞任  
●12月26日、専攻部繰り上げ卒業
- 1942 (昭和17) 年 ●1月30日、西山貞、第2代理事長に就任  
●7月、一力次郎、第3代理事長に就任  
●11月16日、教職員、生徒に対して軍事教練開始
- 1943 (昭和18) 年 ●4月1日、宮城女学校を廃止、宮城高等女学校設置、専攻部を専攻科と改称  
●4月、国語科(3年制)設置
- 1944 (昭和19) 年 ●5月、専攻科教科修練課程改正認可、育児、国語、外国語、音楽の4科併立設置  
中等学校教員養成に適する課程を履修
- 1945 (昭和20) 年 ●1月、専攻科校舎を仙台連隊区司令部庁舎として供出  
●7月10日、仙台空襲により校舎及び付属物焼失  
●8月15日、終戦  
●10月15日、礼拝復活
- 1946 (昭和21) 年 ●2月5日、戦災復興資金募集開始  
●3月31日、第三校舎(中学部)復旧工事完成  
●この頃、西山貞、初代学院長となる  
●5月7日、国語科に中等教員無試験検定許可  
●6月29日、専門学校令による宮城学院女子専門学校設置認可(育児科、外国(英)語科、音楽科設置)  
●7月10日、宮城高等女学校を宮城学院高等女学校と改称  
●7月10日、西山貞、第4代理事長に就任
- 1947 (昭和22) 年 ●4月1日、新学制により宮城学院中学校設置  
●9月、父母教師会結成
- 1948 (昭和23) 年 ●2月20日、矢野貫城、第5代理事長に就任  
●4月9日、新学制による宮城学院高等学校設置、初代中高校長西山貞
- 1949 (昭和24) 年 ●2月21日、宮城学院女子大学設置認可  
●4月、中学・高校が2学期制を実施  
●10月27日、大学開設、高校校舎落成記念祝典  
●西山貞、初代大学・短大学長に就任



# 宮城学院百二十年史略年表



- 1950(昭和25)年
  - 3月14日、宮城学院女子短期大学設置認可
  - 4月、中学・高校現行制服制定
- 1951(昭和26)年
  - 3月9日、学校法人宮城学院設立認可、矢野貫城、第6代理事長に就任
  - 3月31日、宮城学院女子専門学校廃止
  - 7月25日、ハンセン、リンゼイ両女史に対し勲四等瑞宝章授与せらる
- 1952(昭和27)年
  - 2月29日、宮城学院女子大学教職課程設置認可
  - 宮城学院文化学会組織。『橄欖』が高校自治会機関誌として再刊
- 1953(昭和28)年
  - 5月1日、大学本館新築工事完成
- 1954(昭和29)年
  - 3月31日、宮城学院女子大学附設幼稚園教員養成所設置認可
  - 4月1日、女子大学教員養成課程認定(英文学科・音楽科)・女子短期大学教員養成課程認定(家政科・国文科)
  - 女子短期大学家政科に栄養士養成施設指定認定
- 1955(昭和30)年
  - 3月31日、女子大学附設幼稚園教員養成所廃止
  - 4月1日、宮城学院女子短期大学に保育科設置
  - 10月9日～17日、創立70周年記念行事
  - 12月20日、女子短期大学教員養成課程認定(保育科)
- 1956(昭和31)年
  - 3月2日、女子短期大学附属幼稚園設置認可
  - 8月7日、『宮城学院七十年史』刊行
- 1959(昭和34)年
  - 1月20日、女子大学学科増設認可(家政学科定員40名)
- 1960(昭和35)年
  - 4月、小田信士、第2代学院長に就任、併せて第2代学長並びに第2代校長に就任
  - 同月、宮城学院女子大学音楽科附属音楽教室開設
- 1961(昭和36)年
  - 10月、創立75周年式典 高校新校舎献堂式
- 1964(昭和39)年
  - 1月11日、大学に日本文学科設置認可
  - 1月17日、短期大学教養科設置認可
  - 11月20日、大学新館・中高総合校舎献堂式
- 1966(昭和41)年
  - 4月1日、大学にキリスト教文化研究所設置
  - 9月2日、大学に生活科学研究所設置
  - 10月12日、創立80周年記念式典
  - 10月15日、『宮城学院八十年小史』刊行
- 1969(昭和44)年
  - 4月、阪田勝三、初の公選制学長(第3代)に就任
  - 9月、佐藤利吉、第7代理事長に就任
- 1970(昭和45)年
  - 4月、大沼隆、初の公選制校長(第3代)に就任
  - 6月、阪田勝三学長辞任に伴い石井昌光教授、学長事務取扱に就任
  - 10月9日、パイプオルガン奉献式
- 1971(昭和46)年
  - 4月、石井昌光、第4代学長に就任
  - 10月8日、宮城学院総合計画委員会発足
  - 10月18日、創立85周年記念式典
- 1972(昭和47)年
  - 2月、『宮城学院報』第1号発刊。4月『宮城学院広報』創刊
  - 4月、小田信士学院長退任に伴い、石井昌光学長、学院長事務取扱を兼務
  - 4月、J・J・ランディスよりハンドベル寄贈
  - 8月18日、渡辺弘道事務局長、学院長事務取扱を兼務
  - 12月18日、大学後援会発足
- 1973(昭和48)年
  - 4月、佐藤昌彦、第3代学院長に就任
- 1974(昭和49)年
  - 1月26日、理事会において丸太沢地区への総合移転を決議
  - 9月6日、佐藤昌彦学院長の辞任に伴い、石井昌光学長が学院長職務代行を兼務
- 1975(昭和50)年
  - 4月、清水二郎、第4代学院長に就任
- 1976(昭和51)年
  - 4月1日、阿部富士雄、第4代校長に就任
  - 10月18日、創立90周年記念式典
- 1977(昭和52)年
  - 4月1日、松崎繁、第5代学長に就任
  - 9月29日、『宮城学院最近10年小史』刊行



## 宮城学院百二十年史略年表



- 1978(昭和53)年 ●6月12日、宮城県沖地震発生  
●7月31日、総合移転建設工事本契約調印式  
●9月22日、岩井淳一理事、学院長事務取扱に就任  
●10月16日、総合移転建設工事起工式
- 1979(昭和54)年 ●4月、早坂禮吾、第5代学院長に就任  
●7月7日、移転推進本部発足
- 1980(昭和55)年 ●8月7日、桜ヶ丘キャンパスへの引越し開始(～9月30日)  
●9月1日、幼稚園桜ヶ丘新校地にて保育開始  
●9月4日、中学・高校桜ヶ丘新校地へ登校開始  
●10月1日、大学・短期大学校舎献堂式  
●10月25日、新キャンパス落成献堂式、祝会
- 1981(昭和56)年 ●5月17日、同窓会第1回ホームカミングデー開催。伊藤久子、第11代同窓会長に就任  
●10月9日、創立95周年記念式典
- 1982(昭和57)年 ●4月1日、大沼隆、第5代校長に就任  
●6月4日～5日、キリスト教教育同盟第70回総会(会場校)  
●10月2日、中学・高校講堂パイプオルガン奉獻式  
●10月27日、宮城学院桜ヶ丘キャンパスBCS賞(建築業協会賞)受賞
- 1983(昭和58)年 ●4月1日、山形孝夫、第6代学長に就任  
●9月17日、「建学の泉」(旧六角池)を同窓会より寄贈  
●11月14日、第1回宮城学院女性のための生涯教育講座開催
- 1985(昭和60)年 ●12月4日、ハンセンホール・パイプオルガン奉獻式
- 1986(昭和61)年 ●5月2日、創立100周年記念中学運動会  
●5月9日、創立100周年記念高校運動会  
●5月15日、創立100周年記念大学・短大新生歓迎スポーツ祭  
●5月18日、創立100周年記念同窓会第6回ホームカミングデー  
●5月19日、創立100周年記念NHK交響楽団演奏会(東北学院と共催)  
●8月6日～8日、仙台七夕参加(創立100周年記念)  
●9月17日、創立100周年記念喜多流「能」公演  
●9月18日、創立記念日、創立100周年記念礼拝並びに墓前礼拝  
●9月30日、創立100周年記念国立モスクワ合唱団公演  
●10月9日、創立100周年記念佐藤忠良作彫像除幕式  
●10月11日、創立100周年記念式典
- 1987(昭和62)年 ●1月17日、宮城学院、「河北文化賞」受賞  
●3月31日、「天<sup>あめ</sup>にみ栄えー宮城学院の百年ー」発行  
●4月1日、山室章、第6代学院長に就任
- 1988(昭和63)年 ●4月1日、福井喜江、第6代校長に就任(初の同窓生校長)  
●4月1日、国際交流センター開設  
●12月1日、大学、北アリゾナ州立大学と交換計画協定締結
- 1989(平成元年)年 ●3月17日、P・C・S(カナダ)との交流により中学・高校第1回海外研修旅行をカナダで実施  
(創立100周年記念事業の一環、以後継続)  
●4月1日、松崎繁、第7代学長に就任  
●4月1日、宮城学院生涯学習センター開設  
●7月18日、宮城学院跡地記念碑除幕式
- 1990(平成12)年 ●5月20日、庄子泰子、第12代同窓会長に就任
- 1991(平成3)年 ●1月29日、宮城学院前地下横断歩道渡初め  
●4月1日、佐藤利吉理事長、学院長代行に就任  
●4月1日、大沼隆、第7代校長に就任  
●12月9日、大学、ハイデルバーグ大学と姉妹校協定調印式



## 宮城学院百二十年史略年表



- 1992(平成4)年 ●4月1日、小野忠信、第7代学院長に就任  
●4月1日、野坂東作、第8代学長に就任  
●4月18日、大学「第2講義館」献堂式  
●11月17日、松崎繁、第8代理事長に就任
- 1994(平成6)年 ●4月1日、田中弘志、第8代校長に就任  
●9月16日～21日、同窓会創立百周年記念展示会  
●9月28日、宮城学院キリスト教センター開所
- 1995(平成7)年 ●1月30日、『資料室年報-信・望・愛』創刊  
●4月、人間文化学科設置  
●4月17日、大学院開学記念礼拝及び入学式  
●5月23日、大学、クイーブランド工科大学と交換計画協定締結
- 1996(平成8)年 ●4月1日、松崎理事長、学院長代行に就任  
●5月19日、鈴木知、第13代同窓会長に就任  
●10月5日、創立110周年記念礼拝並びに記念式  
●12月20日～21日、中高、創立110周年記念公開クリスマス礼拝
- 1998(平成10)年 ●3月21日、中学・高校第11回海外研修旅行をオーストラリアのコンコーディア・カレッジとの交流により実施  
(以後、継続)  
●4月1日、安部元雄、第9代学長に就任  
●12月23日、中学・高校第12回海外研修旅行を韓国・紀全女子高との交流により実施
- 1999(平成11)年 ●4月1日、深谷松男、第8代学院長に就任  
●5月14日、中高新館(ランディス館)定礎式・献堂式  
●10月9日、大学・短大設置50周年記念礼拝・記念式・祝賀会
- 2000(平成12)年 ●3月25日、『礼拝ガイドブック』(初版)発行  
●3月28日、第二家政館新築並びに第二講義館増築献堂式  
●4月1日、短期大学を改組転換し、大学に、食品栄養学科、生活文化学科、発達臨床学科および国際文化学科を設置し、8学科となる  
●4月1日、鈴木輝秋、第9代校長に就任
- 2001(平成13)年 ●3月22日、スクール・モットー「神を恐れ隣人を愛する」及び中期教育計画・財政計画を決定(定期理事会)  
●4月25日、大沼隆、宗教総主事就任式  
●7月23日、遼寧師範大学との交流協定締結  
●9月30日、創立115周年記念中高演奏会
- 2002(平成14)年 ●5月19日、齋藤恵子、第14代同窓会長に就任
- 2003(平成15)年 ●10月26日、同窓会、ガーナー記念碑を建立  
●12月17日、第1回ハートフル童話賞受賞式
- 2004(平成16)年 ●ハートフル・ボランティア・サポート委員会設立
- 2005(平成17)年 ●1月12日、大学、忠南大学校と交流協定締結  
●4月1日、吉崎泰博、第10代学長に就任  
●10月16日、創立120周年記念中高演奏会(プレ行事)  
●10月21日、大学附属幼稚園創立50周年記念式典・祝賀会
- 2006(平成18)年 ●4月1日、伊藤香美子、第10代校長に就任  
●4月、中学・高校週6日制を実施、高校にコース制を導入  
●8月17日、第1回建学の精神研修会(全学院教職員研修会)  
●9月30日、創立120周年記念礼拝・礼拝堂増築献堂式

学校年表

西暦	年	創立	幼稚園	中等課程	上級課程	宮城学院女子大学	宮城学院女子短期大学	大学院(修士課程)
1886	明治19	0		1886.9.18				
1887	20	1		<b>宮城女学校</b> 本科(4年制) 予科(3年制) 本科(5年制)				
1888	21	2						
1889	22	3						
1890	23	4						
1891	24	5						
1892	25	6						
1893	26	7						
1894	27	8						
1895	28	9						
1896	29	10						
1897	30	11						
1898	31	12						
1899	32	13						
1900	33	14						
1901	34	15						
1902	35	16						
1903	36	17						
1904	37	18						
1905	38	19						
1906	39	20						
1907	40	21						
1908	41	22						
1909	42	23						
1910	43	24						
1911	44	25						
1912	大正1	26						
1913	2	27						
1914	3	28						
1915	4	29						
1916	5	30						
1917	6	31						
1918	7	32						
1919	8	33						
1920	9	34						
1921	10	35						
1922	11	36						
1923	12	37						
1924	13	38						
1925	14	39						
1926	昭和1	40						
1927	2	41						
1928	3	42						
1929	4	43						
1930	5	44						
1931	6	45						
1932	7	46						
1933	8	47						
1934	9	48						
1935	10	49						
1936	11	50						
1937	12	51						
1938	13	52						
1939	14	53						
1940	15	54						
1941	16	55						
1942	17	56						
1943	18	57						
1944	19	58						
1945	20	59						
1946	21	60						
1947	22	61						
1948	23	62						
1949	24	63						
1950	25	64						
1951	26	65						
1952	27	66						
1953	28	67						
1954	29	68						
1955	30	69						
1956	31	70						
1957	32	71						
1958	33	72						
1959	34	73						
1960	35	74						
1961	36	75						
1962	37	76						
1963	38	77						
1964	39	78						
1965	40	79						
1966	41	80						
1967	42	81						
1968	43	82						
1969	44	83						
1970	45	84						
1971	46	85						
1972	47	86						
1973	48	87						
1974	49	88						
1975	50	89						
1976	51	90						
1977	52	91						
1978	53	92						
1979	54	93						
1980	55	94						
1981	56	95						
1982	57	96						
1983	58	97						
1984	59	98						
1985	60	99						
1986	61	100						
1987	62	101						
1988	63	102						
1989	平成1	103						
1990	2	104						
1991	3	105						
1992	4	106						
1993	5	107						
1994	6	108						
1995	7	109						
1996	8	110						
1997	9	111						
1998	10	112						
1999	11	113						
2000	12	114						
2001	13	115						
2002	14	116						
2003	15	117						
2004	16	118						
2005	17	119						
2006	18	120						

## 編集委員会

委員長 深谷 松 男  
委員 飯塚 久 栄  
岩井 陽 子  
岩 渕 淑 子  
大河内 真  
大 平 聡  
前 川 恵 子  
吉 田 理  
吉 村 典 子  
資料室 高 橋 芳 人

2006年10月20日印刷 2006年10月28日発行

宮城学院 目で見る120年(非売品)

編集人 「宮城学院 目で見る120年」編集委員会

発行人 学院長 深谷 松男

発行所 学校法人 宮城学院  
仙台市青葉区桜ヶ丘9丁目1番1号  
TEL 022(279)1311(代)

印刷所 笹氣出版印刷株式会社